Digital Video Recorder

オペレーションマニュアル

TR-2208

取扱説明書を読む前に

本取扱説明書では、(株)IDISの製品であるDigital Video Recorder（デジタルビデオレコーダー）の設置および運用のための基本的な説明を記述しています。

本機をはじめてご使用になるユーザーの方はもちろん以前多くの類似装置を使用してきたユーザーの方でも、ご使用の前には必ず本取扱説明書をよく読み注意事項をご確認の上、本機を使用することをお勧めいたします。なお、安全上の警告および注意事項は製品を正しく使うことで危険や財産上の被害を防ぐことにつながるため、必ずお守りください。

お読みになった後は、いつでも確認できる場所に必ず保管して下さい。

- 規格品以外の製品を使用することで発生した損傷、または取扱説明書の使用方法を従わずに発生した 製品の損傷は、当社で責任を負いかねますので、ご了承下さい。
- Digital Video Recorder(デジタルビデオレコーダー)を初めてご使用になるか、使い方がよく分からないユーザーは、設置や使用す る途中で必ず販売店までお問い合わせ頂き専門のエンジニアのサポートを受けて下さい。
- 機能拡張および故障修理のために装置を分解する場合は、必ず販売店までお問い合わせいただき専門家のサポートを受けて下さい。
- 本機は業務用として電磁波適合登録を済ませた装置ですので、販売者または使用者はこの点にご注意ください。もし、誤って販売または購入した場合には、家庭用のものに交換してください。
- 予期せぬ停電による製品の損傷を防ぐため、UPS（Uninterruptible Power Supply、無停電電源供給装置）の設置をお勧めします。詳細はUPS代理店のお問い合わせください。

安全上の注意事項の表示

注意

感電の危険があるので開けないで下さい。

注意：感電の危険があるのでカバー（後ろカバー）を取り外さないで下さい。
修理は資格のあるサービス担当者へ依頼して下さい。

この事項を守らない場合、死亡したり重症を負う恐れがある内容です。

この事項を守らない場合、軽症を負ったり財産の損害が発生する恐れがある内容です。

本文での表記

アイコン	表記	意味
	注意	本機の機能や動作に関する内容で、必ず熟知しておかなければならない内容です。
	参考	本機を使用する上で役立つ内容です。

著作権

ⓒ2017（株）IDIS
本取扱説明書の著作権は（株）IDISにあります。
（株）IDISの許可を事前に得ず、取扱説明書の内容の一部または全部を無断で使用したり、複製したりすることは禁じられています。
本取扱説明書の内容は製品の機能改善などの理由により予告なく変更される場合があります。

登録商標

アイディスとIDISはアイディスの登録商標です。
その他の社名や製品名は当該会社が所有する登録商標です。

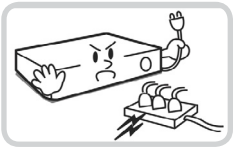
本文書に収められた情報の完結性と正確性を検証するため、最善を尽くしておりますが、保障はいたしかねます。
本文書の使用結果による責任はユーザーにあります。また、事前の連絡なく情報が変更されることもあります。

本機には一部のオープンソースを使用したソフトウェアが含まれています。ライセンス政策のソース公開支援可否によって、該当ソフトウェアのソースコードを希望する場合は提供受けることができます。詳細内容はシステム設定 - 製品情報のタップのご確認お願いします。本製品はUniversity of California, Berkeleyが開発したソフトウェア及びOpenSSL Projectが開発したOpenSSLツールキット用のソフトウェアを含めております。また、この製品はEric Young (eay@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアとTim Hudson (tjh@cryptsoft.com)が作成したソフトウェアを含めております。

安全上の注意事項

警告　この事項を守らない場合、死亡や重症を負う恐れがある内容です。

設置について

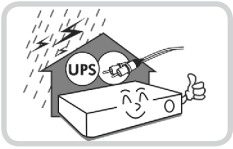


設置する前に必ず本機の電源をOFFにしてください。本機が使用するコンセントは、タコ足配線は止めてください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。

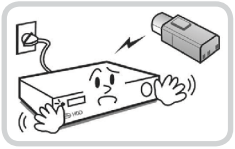
本機の内部に高電圧部分があるため、任意で蓋を開けたり分解・修理・改造したりしないでください。

異常作動により火災や感電、けがの原因となります。



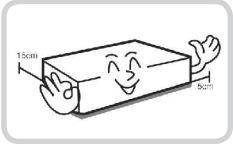
停電や落雷による被害を防ぐため、保護設備を作ってご使用ください。

火災、感電、けがの原因となります。



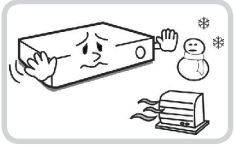
カメラの新規設置および追加工事の前には必ず本機の電源をOFFにし、製品の駆動中には絶対に信号ラインを接続しないでください。

火災、感電、けがの原因となります。



本機の後面には接続のための端子が突出しているため、壁に近すぎるところに設置するとケーブルが無理に曲がったり押さえつけられたりして破損する恐れがあります。壁から15cm以上の間隔を開けて設置してください。

火災、感電、けがの原因となります。

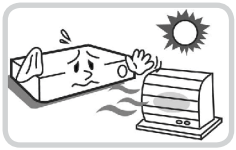


温度が高すぎるところ（40℃以上）や低いところ（5℃以下）、湿度の高いところには設置しないでください。

火災の原因となります。

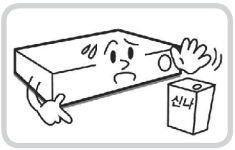
湿気、ホコリ、煤などの多いところには設置しないでください。

感電、火災の原因となります。



直射光線の当たらない涼しい場所に設置し、適正な温度を維持してください。ロウソクや暖房器具など、熱を発する機器の近くには設置しないでください。

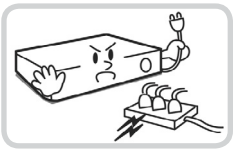
火災が発生する恐れがあります。



設置する場所は、ホコリが溜まらないよう常に清潔を保ってください。製品を掃除するときには、必ず乾いた雑巾で拭き取ってください。水やシンナー、有機溶剤は使用しないでください。

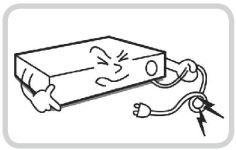
製品の表面を傷つけ、なお、故障や感電の恐れがあります。

電源について



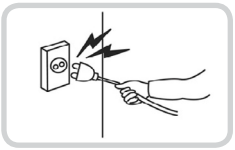
本機が作動するための電源電圧は、電圧の変動範囲が規程電圧の10%以内である必要があります。電源コンセントは必ず接地するようにしてください。電源ケーブルを接続するコンセントには、ヘアドライヤーやアイロン、冷蔵庫などの電熱器具を一緒に使用しないでください。

異常発熱や火災、感電の原因となります。



電源ケーブルを無理に曲げたり、重い物を乗せたりして破損しないようにしてください。

火災の原因となります。



電源ケーブル部分を無理に引き抜いたり、濡れた手で電源プラグに触らないでください。コンセントがゆるい場合は電源プラグを差し込まないでください。

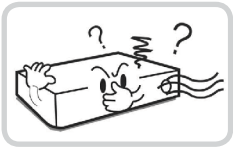
火災、感電の恐れがあります。

アース(接地)は確実に行なう。電源コードには感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線をアースに接続してください。確実にアース接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

使用について

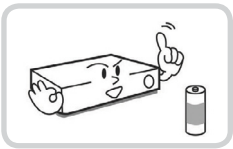
製品に水、または異物が入った場合、すぐに電源プラグを抜いてサービスセンターまでご連絡ください。

故障、火災の原因となります。



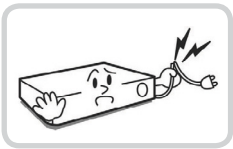
異常な音がしたり臭いがしたりする場合は、すぐに電源プラグを抜いて販売店やサービスセンターまでお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。



電池は製造者が指定した同一型番また同等品だけを使用してください。使用済み電池は製造者の指示に従って廃棄してください。

爆発の恐れがあります。

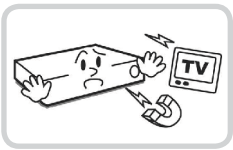


湿気のある床や接地されていない電源延長ケーブル、被覆の剥がれた電源コード、安全接地の欠如など、危険な状況を作らないように注意してください。問題が発生した場合は、販売店や施工業者にお問い合わせください。

火災、感電の恐れがあります。

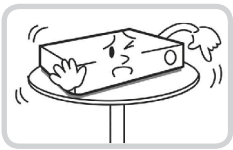
⚠ **注意** 指示事項を守らない場合は、軽傷を負ったり、製品が損傷したりする可能性があります。

設置について



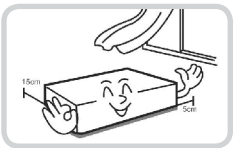
強い磁性や電波のある場所、衝撃のある場所、ラジオやテレビなどの無線機器に近い場所には設置しないでください。

磁石類や電波、振動のないところに設置してください。



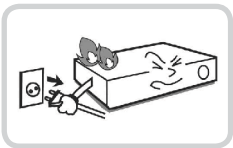
水平で安定した場所に設置し、垂直に立てたり斜めに置いて使用しないでください。

機器が倒れたり落ちたりする場合、故障したり人にけがをさせたりする恐れがあります。



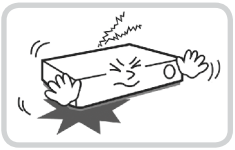
密閉されていない風通しの良い場所に設置し、室内のの空気は適切に循環させてください。

周辺の環境要素により故障の原因となります。後面は15cm以上、側面は5cm以上の間隔を置いて設置してください。



ユーザーが電源プラグを簡単に取り外せる場所に設置してください。

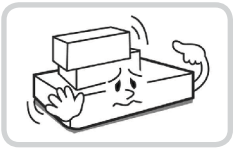
製品に深刻な異常や火災が発生した場合、電源プラグを抜いて危険要素を簡単に取り除けるようにしてください。



強い衝撃や振動のない場所に設置してください。

故障の原因となります。

使用について

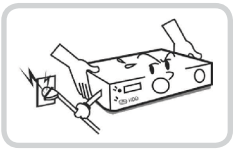


製品の上に重い物を置かないでください。

故障の原因となります。

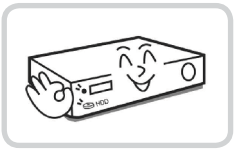
通風のために開いている溝に導電性物体が落ちないように注意してください。

故障の原因となります。



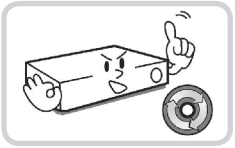
製品の駆動中には電源プラグを抜いたり、製品を動かしたりしないでください。

故障の原因となります。

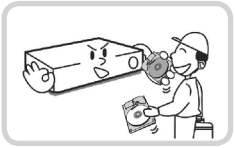


製品前面の録画LEDが点滅し続けていれば、システムとHDDが正常に接続されていることが分かり ます。

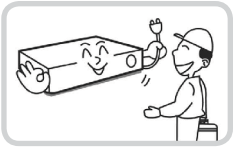
録画LEDが点滅し続けているかどうか随時確認してください。



HDDの空き容量がなくなったときに録画を続けるために設定を変更して録画を続ける場合、既存のデータが削除されるため再度確認してください。



データを保存するHDDの寿命が尽きると、保存されている映像データが損傷して復旧できないことがあります。HDDに保存されているデータを再生する場合、画面に乱れが生じたらHDDの寿命が尽きたことを意味するため、早急に販売店やサービスセンターに連絡しHDDの交換を依頼してください。



製品の動作状態を随時確認し、異常が見つかったときはすぐに販売店やサービスセンターにお問い合わせください。

目次

1

第1章ー設置 9

ログイン 9

リアルタイム監視 10

リアルタイム監視メニュー 10

映像出力エリア 11

画面グループの編集機能 12

拡大機能 13

PTZ制御 13

イベントモニタリング機能 15

カメラロック機能 15

状態監視 15

コンテキストメニューの実行 16

ビデオ録画 17

緊急録画 17

オーディオ録画 17

保存された映像の再生 17

全チャンネル再生 17

トリプレックス再生 17

再生中のリモコンボタンの機能 18

コンテキストメニュー 18

2

第2章ー設定 19

メニューの使い方 19

スクリーンキーボードによる文字列入力 19

テーブルで全列の値を同時に設定する 20

マウスの使用 20

システム設定 20

一般 20

日時/時間 25

使用者 26

HDD 28

録画設定 30

一般 30

スケジュール 31

プリイベント 33
イベント設定 33
モーション 33
トリップゾーン 35
アラーム入力 36
映像信号なし 37
映像信号遮断 37
テキストイン 38
カメラ設定 39
一般 39
PTZ 40
Clip Privacy 40
プライバシーマスキング 41
装置の設定 41
オーディオ 41
アラーム出力 41
遠隔制御 42
その他 43
ネットワーク設定 43
一般 43
LAN 44
FEN 46
RTSP 46
NetFS 48
通知設定 50
コールバック 50
メール 50
FTP 51
スケジュール 52
ディスプレー設定 53
OSD 53
メインモニター 54

3

第3章–検索 55

映像検索 55

検索メニュー 55

コンテキストメニュー 56

イベントログ検索 56

録画テーブル検索 57

モーション検索 59

テキストイン検索 60

ブックマーク 61

バックアップ 61

印刷 63

重複した時間の映像検索 63

4

第4章 – IDIS Web 64

ウェブ監視モード 66

ウェブ検索モード 68

5

索引 71

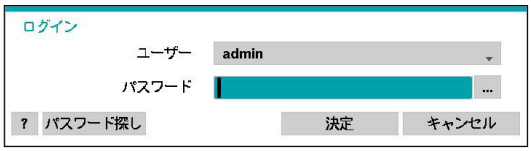
Index 71

第1章ー設置

ログイン

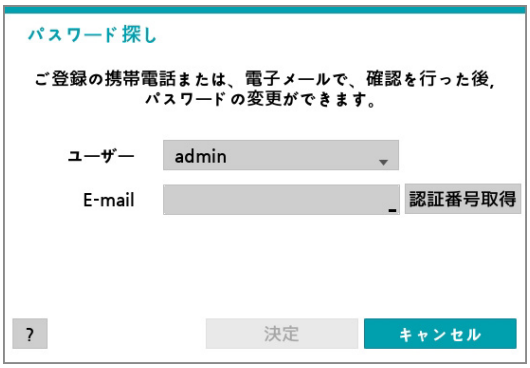
環境設定や検索など、DVRの様々な機能を使用するためには、その権限を有するユーザーでログインしなければなりません。

1 リアルタイム監視メニューでリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを利用して（ログイン）を押してください。

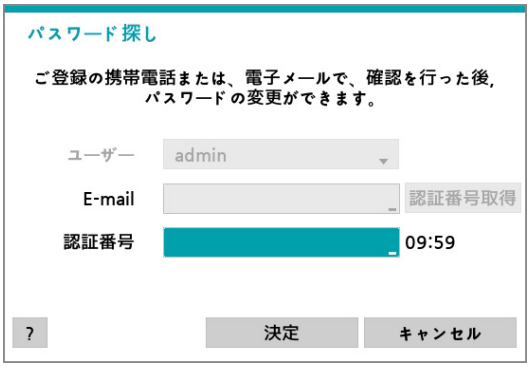


2 ユーザーを選択してパスワードを入力したら、**決定**ボタンを押してください。

3 パスワードを忘れた場合、ログイン画面で “パスワード探し”をクリックしてください。ユーザーを選択し、E-mailアドレスを入力した後、“認証番号取得”をクリックしてください。



4 E-mailで届いた認証番号を入力して“決定”をクリックします。



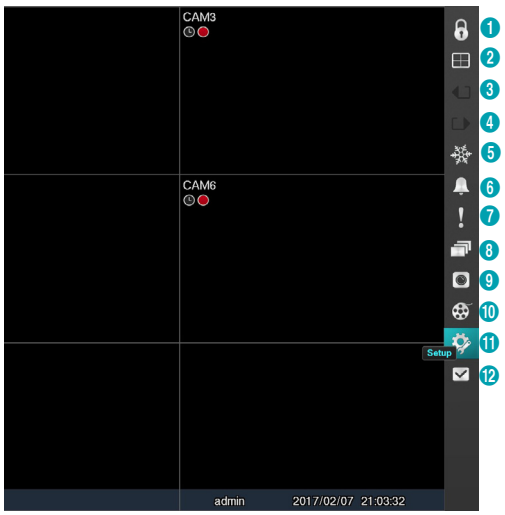
- adminアカウントには初期パスワードがないので、adminアカウントを選択し、パスワードを入力せずログインします。
- パスワードを設定せずシステムを使用するのはセキュリティ上好ましくないため、なるべくパスワードを指定して使用してください。パスワードを指定せずに使用すると、警告メッセージが表示されます。
- マウスでパスワード入力項目の右側にあるボタンを押すと、スクリーンキーボードでパスワードを入力することができます。スクリーンキーボード使用に関する内容は、**スクリーンキーボードによる文字列入力 ページ 19**を参照ください。
- E-mailでパスワード検索機能を使用するには、SMTPを設定します。

5 リアルタイム監視メニューにおいてマウスで（ログアウト）を押すと、ログアウトすることができます。

リアルタイム監視

リアルタイム監視メニュー

リアルタイム監視モードで**メニュー**ボタンを押すと、画面右側にリアルタイム監視メニューが表示されます。**メニュー**ボタンをもう一度押すと、メニューが消えます。前面パネルやリモコンの方向ボタンを利用して各メニューや項目間を移動できます。



❶	ログイン/ログアウト
❷	ディスプレー
❸	前画面グループ
❹	次画面グループ
❺	フリーズ
❻	アラーム
❼	緊急録画
❽	自動切替
❾	カメラメニュー
❿	検索
⓫	設定
⓬	状態

マウスポインタを画面右側に合わせてもリアルタイム監視メニューが表示されます。

- **ログイン/ログアウト**

  ログインまたはログアウトができます。ログインされている場合、そのIDが表示されます。ログアウトされている場合は、Loginが表示されます。

- **ディスプレー**

  画面レイアウトを単一化すると、PIP、2x2、1x5、1x7、3x3画面に切り替わります。

  – **カメラOSD、状態OSD:** カメラ関連のOSD (画面上の文字表示)機能またはシステム状態関連のOSD機能を活性化または非活性化させます。

- **前画面グループ/次画面グループ**

  現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

- **フリーズ**

  画面が停止されます。再び**フリーズ**を選択するとフリーズ状態が解除されます。

- **ラーム**

  アラームが作動している間、内部ブザーを含むDVRの出力をリセットします。

- **緊急録画**

  緊急録画機能を使用/解除します。

- **自動切替**

  リアルタイム監視モードでリモコンの**SEQUENCE**ボタンを押すときと同様に自動切替が始まります。自動切替を止めたい時はもう一度**自動切替**を選択するか、リモコンの**SEQUENCE**ボタンを押してください。自動切替中には画面下段のシステム状態表示部分に が表示されます。

フル切替

監視モードの全体画面およびPIP分割画面ですべてのチャンネルが順番に切り替わながら表示されます。

Ex> 全体画面でのフル切替

1 ⇨ **2** ⇨ **...** ⇨ **8** ⇨ **1**

切替

切替モードでは監視モードの画面分割で右下の一つの画面だけが自動的に切り替わります。切替機能を使用するためには、ディスプレー設定–メインモニターの自動切替設定で切替を選択する必要があります。

- **フル切替**で作動中の場合は、画面下段のシステム状態表示部分に自動切替マークが表示されます。
- 次の場合はそのページをスキップします。
  - ページを構成しているすべてのカメラが無効状態の場合
  - 映像信号がない場合
  - ロックされたカメラの場合
  - カメラにアクセスできる権限のないIDでログインした場合

- **カメラのメニュー**
  - **PTZ:** PTZボタンを押す場合と同じく PTZ制御機能を行うことができます。
  - **拡大:** ZOOMボタンを押した場合と同じく映像を拡大することができます。マウスを右クリックし、方向を変更するにはドラッグし、マウスを左クリックしてホイールを使用して、より正確にズームイン/アウトします。
  - **オーディオ:**オーディオ出力をOn/Offさせることができます。
  - **色調整:** 調整したいカメラのチャンネルを選択すると、色調整ウィンドウが表示されます。

ここで変えられた色彩の通り、映像が監視されるだけでなく保存できます。

  - **メニュー調整:** 調整したいカメラの本体設定を行うことができます。

- メニュー調整は、接続しているカメラのチップがUTC (Up The Coax) 機能に対応していなければならず、またPelco-C/H-C Protocolを使用するカメラのみ可能です。
- メニュー調整は、PTZ設定でポートがRS232またはRS485に設定されている場合使用できません。

  - **グループ編集モード:** 分割画面からMENUボタンを3秒以上押したときと同じく画面グループ編集モードがスタートします。
  - **情報:** 現在接続されているカメラ情報と記録状態を表示します。

カメラメニューは、各カメラ画面でマウスを右クリックして表示させることもできます。

- **検索**
  - **すべてのチャンネル:** 検索 > すべてのチャンネルを選択すると検索モードに入ります。
  - **トリプレックス:** 検索 > トリプレックスを選択すると、トリプレックス再生モードに切り替わり、当該チャンネルの映像が再生されます。

- **設定**

  設定メニューに入ることができます。

- **状態**

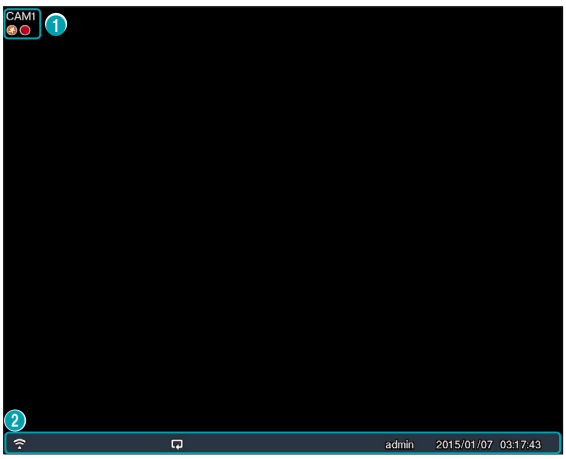
  イベントおよび保存空間の状態を確認することができます。

映像出力エリア

映像出力エリアにマウスの左ボタンをクリックすると、分割画面表示と単一画面表示に切り替えることができます。

映像出力エリアに表示されるカメラ画面はマウスをドラッグして位置を調整することができます。

カメラ画面の構成



① カメラタイトル

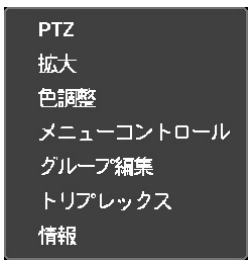
カメラのタイトルを表示します。

② ステータス情報ウィンドウ

	リモコンが使える場合、このアイコンが表示されます。
	遠隔プログラムでDVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	双方向オーディオにつながっている場合、このアイコンが表示されます。
	映像拡大機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	VNCサービスでDVRに接続した場合、このアイコンが表示されます。
	フリーズ機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
	自動切替機能を使用する場合、このアイコンが表示されます。
1/4	全体画面モードではない場合、現在の画面が属しているグループを表示します。
	イベントモニタリング中の場合、このアイコンが表示されます。
	HDD録画状態を表示します。上書の場合、このアイコンが表示されます。上書を使用しない場合、残っているHDDの容量が%で表示されます。

実行メニュー

映像出力エリアでマウスの右クリックボタンをクリックすると、実行できるメニューが表示されます。



- **PTZ**：PTZ制御機能が行えます。
- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **色調整**：色を調整したいカメラのチャンネルを選択すると色調整ウィンドウが表示されます。各カメラの輝度、コントラスト、彩度、色相が調整できます。

ここで変えられた色彩の通り、映像が監視されるだけでなく保存できます。

- **メニュー調整:** 調整したいカメラの本体設定を行うことができます。

- メニュー調整は、接続しているカメラのチップがUTC (Up The Coax) 機能に対応していなければならず、またPelco-C/H-C Protocolを使用するカメラのみ可能です。
- メニュー調整は、PTZ設定でポートがRS232またはRS485に設定されている場合使用できません。

- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **トリプレックス:** トリプレックス再生モードに切り替わり、当該チャンネルの映像が再生されます。
- **情報:** 現在接続されているカメラ情報と記録状態を表示します。

画面グループの編集機能

画面グループ編集モードは監視および検索モードの画面分割で望みの位置にカメラ映像を並べ替える機能です。

1 画面分割でコンテキストメニューの**グループ編集**を選択してください。編集するカメラ画面の縁に黄色いボーダーラインが表示されます。前面パネルの矢印ボタンやマウスで他の画面を選択することができます。

2 黄色いボーダーラインが表示された画面で**カメラ**ボタンか**メニュー**ボタンを押してカメラを選択してください。選択されたカメラがその画面位置に移動します。各画面にカメラ番号を並べ替えることができます。

3 リモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押すと、グループ編集モードを終了します。**メニュー**ボタンを押して**グループ編集終了**を選択し、グループ編集モードを終了することもできます。

画面グループ編集モードは連続動作がない場合およそ15秒ほどで終了します。

拡大機能

リアルタイム監視メニューの**カメラメニュー> 拡大**を選択するか、リモコンの**拡大**ボタンを押して拡大するカメラを選択してください。拡大する位置を設定する画面が表示されたら、方向ボタンで拡大して確認する位置を変更することができます。

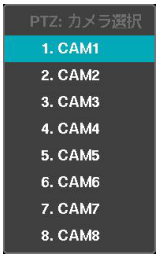
再生/一時停止ボタンを押すと映像が拡大します。映像拡大機能を使用する場合、システム下段 の状態表示ウィンドウに拡大 🔍 アイコンが表示されます。

- 全体画面モードでは、拡大するカメラを選択するとき現在の画面が自動的に選択されます。
- 拡大画面を終了するときは、インボタンをもう一度押します。
- 拡大機能の割合は、カメラモードによって対応の内容が異なります。

PTZ制御

監視モードでカメラを右クリックすると表示されるコンテキストメニューからPTZを選択するか、前面パネルまたはリモコンの**PTZ**ボタンを押すと、PTZカメラを選択するウィンドウが表示されます。

監視モードでカメラを右クリックすると表示されるコンテキストメニューからPTZを選択するか、リモコンのPTZボタンを押すと、PTZカメラを選択するウィンドウが表示されます。



確認したいPTZカメラを選択すると、選択されたカメラのOSDウィンドウで Ⓟ アイコンが点滅します。

方向ボタンでPTZカメラの上下左右に移動（Pan、Tilt）することができます。

▲①および▲②ボタンで拡大/縮小ができます。

▷③および◁④ボタンで近距離フォーカス/遠距離フォーカスが調整できます。⑤⑥

マウスをドラッグして方向を移動することができます。

マウスのホイールで拡大/縮小ができます。

- PTZカメラを調整するためには、**PTZ制御権限**を有するユーザーでログインしなければなりません。
- 監視画面上でPTZカメラがない場合にはメッセージウィンドウが表示されます。
- 拡大、縮小、フォーカス調整は、リモコンの**PTZ**制御（**ZOOM、FOCUS**)ボタンでもできます。
- PTZモードを終了するためには、**PTZ**ボタンをもう一度押します。

PTZプリセットを設定する

PTZモードでリモコンの**プリセット保存**ボタンを押すと、**プリセット設定**設定ウィンドウが表示され、現在の位置をプリセット番号を指定して保存することができます。

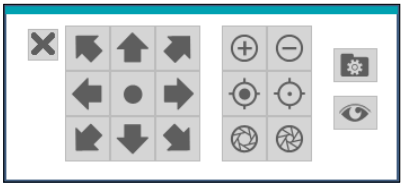
PTZモードでリモコンの**プリセットビュー**ボタンを押して**プリセット移動**設定ウィンドウが表示されたら、プリセット番号を選択して、その番号に保存された位置にPTZカメラをすぐに移動させることができます。

詳細設定

PTZモードから調整したいカメラを選択した後、リモコンの**メニュー**ボタンを押し、画面上段メニューから**Advanced PTZ**を選択すると 下記のような高級PTZメニューが表示されます。**速度**、**オートパン**など、そのPTZカメラが対応する拡張機能が使用できます。そのPTZカメラが対応しない機能は非活性化されます。

マウスを使うともっと簡単にPTZカメラを調整することができます。マウスの左ボタンでドラッグしてカメラを動かすことができ、マウスのホイールで映像を縮小/拡大することもできます。

PTZモードでマウスポインタを画面の下段にあわせると、PTZのコントロールボックスが現れます。



	PTZカメラの移動
	ズームイン/アウト
	近距離/遠距離フォーカス
	しぼりを開く/閉じる
	プリセット設定/移動
	カメラのデバイスメニュー

- PTZカメラをDVRで使うためには、カメラが対応するPTZプロトコルを正しく設定する必要があります。
- ツールボックスウィンドウをドラッグして位置を変えることができます。
- ✕アイコンをクリックするとツールボックスが消えます。

イベントモニタリング機能

イベントが発生すると、イベント連動録画が始まるカメラ画面へ自動的に切り替わり、下のシステムステータスエリアに🔔アイコンが表示されます。イベントモニタリング機能を使用するには、**メニュー>ディスプレイ>メインモニター**を設定してください。イベントモニタリングは、**連動録画期間**にその機能が維持されます。その後、新しいイベントが発生しなければ前画面に戻ります。**連動録画期間**が終了する前に**画面分割**ボタンを押したり、**カメラ番号**ボタンを押したりすると、通常監視画面に切り替わります。

カメラロック機能

ユーザーがログインしていないか、**ロックされたカメラ表示**の権限のないユーザーでログインした場合、指定したカメラは表示されないように制限します。

メニュー>カメラで特定のカメラを**隠し1**または**隠し2**に設定することができます。

- **隠し1**：監視画面で指定したカメラの映像は見えないが、そのカメラのタイトルや現在の状態を表すアイコンは通常通りに表示されます。
- **隠し2**：指定したカメラの映像が映らず様々な状態を表すアイコンも表示されません。

ロックされたカメラ表示権限を有するユーザーがログインした場合、カメラが**隠し1**や**隠し2**に設定されていてもロック機能は作動せず映像や状態アイコンがすべて表示されます。

状態監視

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

イベント

全てのイベントの状態を確認することができます。
イベントが発生したチャンネルは5秒間点滅します。

	アラーム入力
	アラームインを確認
	モーション
	トリップゾーン
	映像信号なし
	映像信号遮断
	テキストイン

- **緊急録画**：現在緊急録画の使用状況によってイベント状態が表示されます。
- **録画を確認**：この項目は**システム監視**設定によってイベント状態が表示されます。詳しい内容は**システムイベント ページ 28**を参照ください。
- **ファンエラー**：クーリングファンの回転数が一定のレベルに達しなかったり、約50秒以上作動しない場合、イベント状態が表示されます。
- **保存デバイスなし**：録画可能なHDDが存在しない場合に発生するイベントです。
- **ディスクフル警告/ディスクフル**：HDDが**上書き**の状態ではない場合、**システム監視**設定で指定したディスクの割合に達したとき、更に100%になったときにイベント状態が表示されます。詳しい内容は**システムイベント ページ 28**を参照ください。
- **ディスク構成変更**：HDDを交換してシステムを再起動したときに発生するイベントです。

HDD

各ディスクの状態を表示します。

設定>**システム**>**システムイベント**でディスクエラー、ディスク温度設定を行うことができます。

ディスクエラー	初期化されていません	使用したことのないディスク
	良好	• 正常に動作しているディスク • HDDの一部が損傷しているとき、その割合が表示される
	エラー	• HDDの損傷の割合がユーザーの設定した割合より多い場合 • システムイベント発生
温度	N/A	温度が感知できないディスク
	良好	正常な温度の場合は温度が表示される
	不良	• ユーザーが設定した温度以上の場合 • システムイベント発生
S.M.A.R.T.	N/A	S.M.A.R.T.機能に対応しないディスク
	良好	S.M.A.R.T.状態が正常な場合
	不良	S.M.A.R.T.状態が異常であり、ディスクが24時間以内に損傷する可能性のある場合

コンテキストメニューの実行

リアルタイム監視モードにおいて当該チャンネルにマウスで右クリックすると、コンテクストメニューウィンドウが表示されます。

- **PTZ**：PTZ制御機能が行えます。
- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **色調整**：色を調整したいカメラのチャンネルを選択すると色調整ウィンドウが表示されます。各カメラの輝度、コントラスト、彩度、色相が調整できます。
- **メニュー調整:** 調整したいカメラの本体設定を行うことができます。
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。
- **PIP:** PIP分割画面でPIP画面の位置やサイズを変更することができます。
- **トリプレックス:**トリプレックス機能を利用してリアルタイム監視モードで録画を維持した状態で特定チャンネルの映像を再生することができます。
- **情報:** 現在接続されているカメラ情報と記録状態を表示します。

ビデオ録画

第2章接続編を参考にし、DVRを正しく設置すると録画が始まります。
ビデオ録画設定に関する内容は**録画設定 ページ 30**を参照ください。

緊急録画

リアルタイム監視メニュー、または**検索**メニューで緊急録画アイコンを選択するか、前面パネルまたはリモコンの**緊急録画**ボタンを押すと、登録されているすべてのカメラで緊急録画を始めます。

緊急録画を中止するには、もう一度緊急録画アイコンを選択するか、**緊急録画**ボタンを押してください。**録画設定> 一般**で**緊急録画時間**が設定されている場合は、設定された時間だけ緊急録画をしたあと自動的に終了します。詳しい内容は**録画設定 ページ 30**を参照ください。

- 緊急録画はユーザーが設定した録画スケジュールに関わらず行われます。
- **録画設定 - 一般**で緊急録画のために設定された 録画 ips、画質、解像度で録画できます。

録画モードが**上書**状態ではない場合、HDDが100%になると緊急録画は実行されません。

オーディオ録画

録画設定> 一般でオーディオ録画設定がされている場合、カメラのビデオが録画されるとき音声も録音されます。詳しい内容は**オーディオ ページ 41、録画設定 ページ 30**を参照ください。

設置地域内の法律が録音を許可しているか確認してください。法律違反による責任はすべてユーザーにあります。

保存された映像の再生

マウスやリモコンなどを使用して、映像を再生することができます。

- 保存された映像を再生するためには、検索権限を有するユーザーでログインする必要があります。
- 検索モードでの初期再生位置は、前回最後に再生した部分または保存された部分のいちばん最後の部分になります。
- 録音されたオーディオの再生は、全体画面で再生したときのみ可能です。
- ロック設定がされたカメラがある場合、ロック機能が再生モードでも同様に適用されます。

全チャンネル再生

1 リアルタイム監視モードで**メニュー**ボタンを押してください。

2 検索モードアイコンを選択し、**全チャンネル**を選択してください。

3 録画データ検索またはイベントログ検索モードに切り替ることができます。

データ検索に関する詳しい説明は**第3章-検索 ページ 55**をお読みください。

トリプレックス再生

1 リアルタイム監視モードで**メニュー**ボタンを押してください。

2 検索モードアイコンを選択し、**トリプレックス**を選択してください。

3 リアルタイム監視モードを維持した状態で、特定チャンネルの映像を再生することができます。

データ検索に関する詳しい説明は**第3章-検索 ページ 55**をお読みください。

再生中のリモコンボタンの機能

1 **カメラボタン**：指定したカメラの映像を全体画面で見ることができます。

2 **拡大ボタン**：再生画面の特定部分を拡大して見ることができます。

3 **画面分割ボタン**：2x2とPIPの分割画面に切り替えることができます。

コンテキストメニュー

検索モードで、マウスの右クリックでもメニューを呼び出すことができます。

- **拡大**：映像を拡大することができます。
- **グループ編集**：グループ編集では分割画面上にカメラの位置を変更できます。

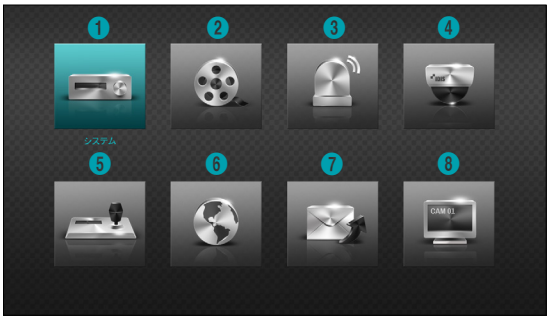
第2章ー設定

メニューの使い方

第3章設定編で取り扱う内容のすべては、メニューの使い方をご参照ください。

設定メニューに入るためには、メニュー設定の権限を有するユーザーでログインする必要があります。

1 リアルタイム監視画面でリモコンの**設定**ボタンを押すか、マウスを利用してリアルタイム監視メニューで設定を選択してください。



❶	システム設定
❷	録画設定
❸	イベント設定
❹	カメラ設定
❺	デバイス設定
❻	ネットワーク設定
❼	通知設定
❽	ディスプレー設定

2 リモコンの方向ボタンで設定したい項目に移動したあと、リモコンの**ENTER**(↵)ボタンをおすか、マウスの左ボタンでクリックしてください。

3 設定変更が終わったら、**決定**ボタンを押して変更した設定を保存してください。

設定ウィンドウ左下の**初期値**ボタンを選択すると、設定値が初期値に変わります。

スクリーンキーボードによる文字列入力

リモコンの方向ボタンで入力したい文字に移動したあと、リモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押すか、マウスをクリックして文字を入力することができます。

⇧	大文字と小文字を選択します。
←	カーソルの前の文字を削除します。
✖	カーソルの後ろの文字を削除します。
⌨	文字列キーボード入力を変更します。

テーブルで全列の値を同時に設定する

録画設定 ページ 30のようにメニューがテーブルに構成されている項目の場合、一部はテーブルのタイトル値を変更することができます。この場合タイトル値を変更すると、同じ列の全項目の値を同時に変更することができます。

マウスの使用

マウスを使えば、容易に環境設定が行えます。素早く項目をクリックして選択でき、スクロールバーのあるメニューではマウスのホイールを回してメニューを上下に移動できます。数字を増減させるときも、マウスのホイールを回して数字を設定することができます。

システム設定

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

一般

システムの一般的な内容を設定します。

- **サイト**：装置の設置場所に対する説明が表示されます（初期値はありません）。スクリーンキーボードを利用して内容を変更することができます。
- **システムID**：他のDVRと接続した場合に本装備を区別するのに使用され、RS-485で複数台のシステムを接続して遠隔キーボードを通じて遠隔制御を行うのに使用されます。また、リモコンで制御するときシステムIDで区別します。

> システムIDの初期値は0であり、0～99まで変更して使うことができます。システムIDはスクリーンキーボードでも入力することができます。

- **言語**：対応できる言語を選択して使うことができます。
- **バージョン**：ソフトウェアのバージョンを表示します。
- **アップグレード**：システムアップデートを行います。NetFS機能を使用中の場合にアップデートを押すと、**USBメモリ**または**NetFS**から選択することができます。NetFSを使用しない場合には、USBメモリだけを選択することができます。**USBメモリ**を選択するとUSB検索ウィンドウが表示され、アップデートパッケージファイルを選択してシステムをアップデートすることができます。**NetFS**を選択すると、登録されてるFTPサイトリストからFTPサイトを選択します。アップグレード後にはDVRが自動で再起動します。

- アップグレードパッケージファイルのうち、拡張子がruiとなっているのがシステムのアップグレードパッケージです。
- アップグレードを失敗すると失敗メッセージが表示されます。失敗メッセージは**インストールマニュアル**を参照ください。

- **設定**：現在DVRの設定を保存したり、以前に保存した設定を読み込んだりすることができます。NetFS機能が使用中の場合、登録されているFTPサイトからDVRの設定を読み込んだり、保存したりすることができます。
  - **読込**：ネットワーク設定も一緒に読み込むか選択することができます。**ネットワーク設定を含む**を選択しなければ、現在のシステムのネットワーク設定は変更されません。

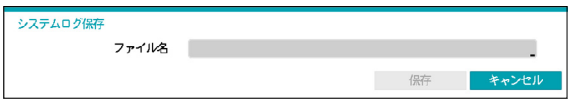
- **設定読込**を実行しても、下記の設定値は変更されません。
- 時間に関する設定値（日時/時間、標準時間帯、サマータイム）

  - **エクスポート**：USBに接続されている保存デバイス、またはNetFSに登録されているFTPサイトに設定ファイルを保存します。**ファイル名**を指定して、現在の設定を保存することができます。

USBフラッシュメモリはFAT16、または FAT32フォーマットにのみ対応します。

- **システムログ表示**：最近の5、000件までのシステムログを検索することができます。システムログの種類は**インストールマニュアル**を参照ください。遠隔接続したログの場合、右側に品アイコンが表示されます。画面下の**エクスポート**を押すと、ファイル名を指定してUSBに接続されている保存デバイスまたはNetFSに保存することができます。

システムログ画面で、**エクスポート…**を選択するとUSBに接続している保存デバイスに**ファイル**名項目から入力したファイル名でログ情報を保存します。NetFS 機能を使用中の場合 (ネットワーク > NetFS) 登録された FTP サイトにログ情報をアップロードすることができます。**エクスポート**を選択します。**USB保存デバイス**または**NetFS**を選択します。NetFSを選択すると、登録されてるFTPサイトリストからFTPサイトを選択します。



保存されたシステムログ.txtファイルの内容を確認するためには、適切な文字コードに設定して固定幅のフォントを使用する必要があります。

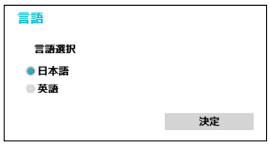
  - **暗号化を使用:** 暗号化を設定すると、システムログをHTMLファイルに暗号化して保存します。保存したシステムログ.htmlファイルは、ウェブブラウザで開くことができ、その際、パスワードを入力しなければなりません。

- **全てのデータ削除**：録画されている全てのデータを削除します。**全てのデータ削除**を押すとダイアログボックスが表示され、そこから**削除**を押すと録画されている全てのデータが削除されます。

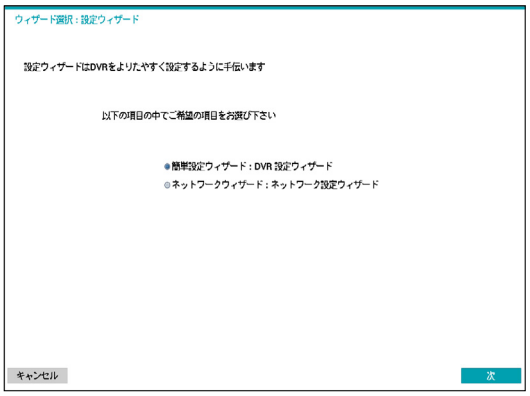
- **全てのデータ削除**を実行する前に、削除しても良いデータであるか必ず確認してください。一度削除されたデータは復元できません。
- **全てのデータ削除**をしてもシステムログは残り、**全てのデータ削除**というシステムログが追加されます。

- **ウィザード:** 設定ウィザードを利用し、システム運用に必要な初期設定を行うことができます。

1 システムで使用する言語を選択してください。



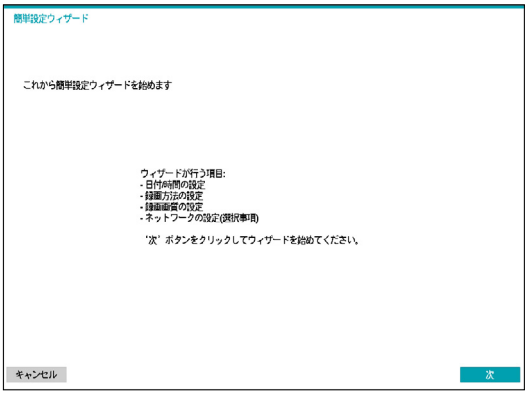
2 設定ウィザードのオプションを選択した後、**次**ボタンをクリックして設定ウィザードを起動させます。



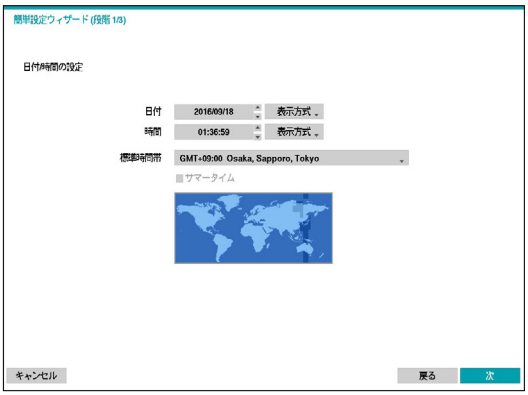
ウィザード画面全体で**キャンセル**を選択すると、変更された設定を取り消してメイン設定メニュー画面に戻ります。

クイック設定ウィザード

1 クイック設定ウィザードを始めます。

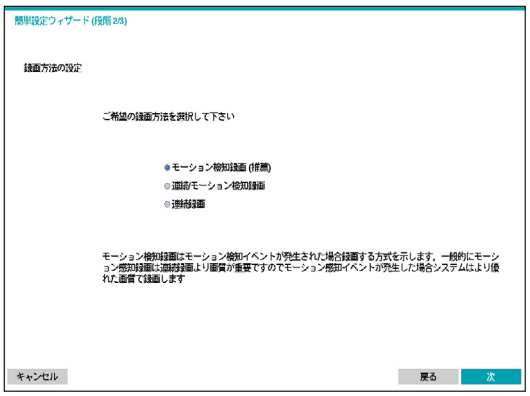


2 日時や時間を設定した後、**次**をクリックしてください。

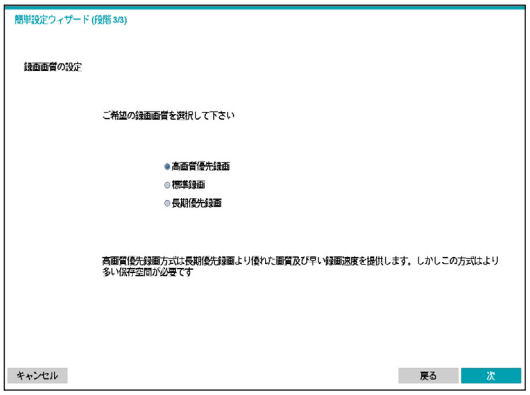


- 変更された日時/時間の設定値は、**次**をクリックすると適用されます。
- 日時/時間設定に関する詳細は **<u>システム設定 ページ 20</u>> 日時/時間**を参照ください。

3 設定したい**録画方式**を選択した後、**次**をクリックしてください。



4 設定したい**録画画質**を選択した後、**次**をクリックしてください。

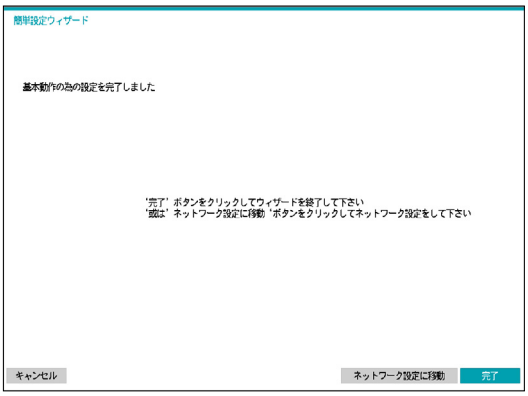


高画質を選択するほど、ハードディスクで使用される容量は大きくなります。

- 選択した録画方式および画質による録画ips、画質、解像度は次の通りです。

	高画質優先録画	標準録画	長時間優先録画
モーション検知録画	30 ips, 最高画質, 最高画質	15 ips, 高画質, 最高画質	5 ips, 標準, 高
連続/モーション検知録画	連続、モーション: 30 ips, 最高, 最高	連続: 15 ips, 高, 最高 モーション: 30 ips, 最高, 最高	連続: 5 ips, 標準, 高 モーション: 15 ips, 高, 最高
連続録画	30 ips, 最高, 最高	15 ips, 高, 最高	5 ips, 標準, 高

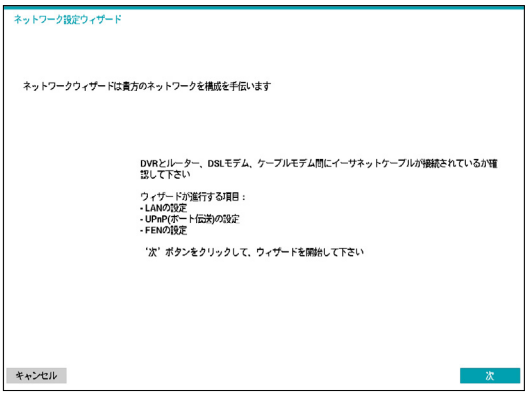
5 **完了**をクリックすると、クイック設定ウィザードが終了します。



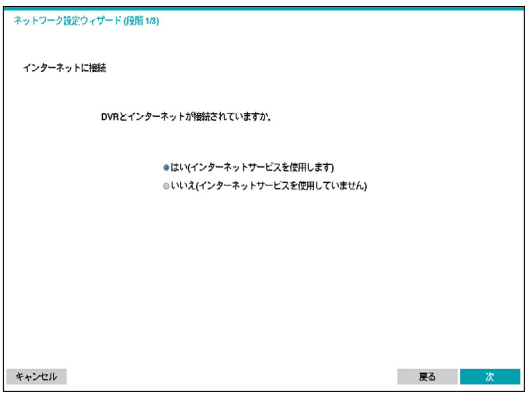
ネットワークウィザード

クイック設定ウィザードが完了した後に**ネットワーク設定へ**をクリックすると、ネットワーク設定ウィザードを始めることもできます。

1 ネットワーク設定ウィザードを始めます。

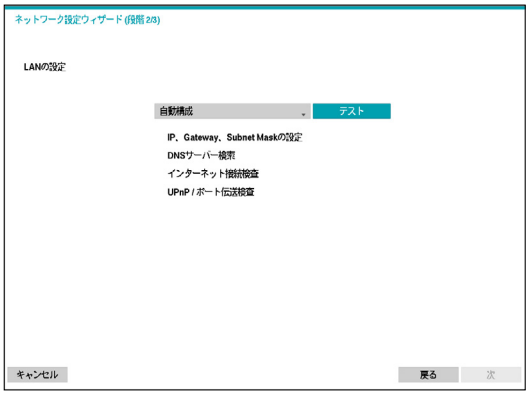


2 システムが外部のインターネットに接続されているかを選択し、**次**をクリックしてください。



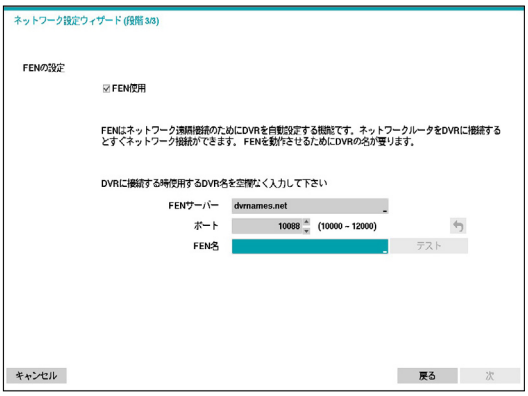
インターネット接続選択で**いいえ**を選択した場合、テストが完了してから**完了**を押すと、ネットワーク設定ウィザードが終了できます。

3 ネットワーク構成を選択し、**次**をクリックしてください。自動構成または手動構成から設定したいネットワーク構成を選択した後、**テスト**をクリックすると、現在のシステムのネットワーク構成が使えるかどうかが確認できます。



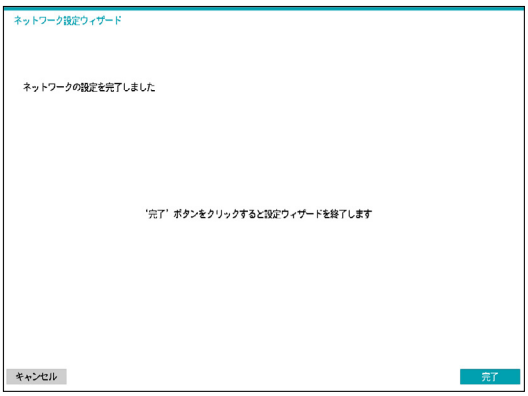
- テストを完了しないと、次の段階には進めません。
- DHCPサーバーのあるネットワークにDVRが接続されている場合、**自動構成**を選択するとIPアドレスやDNSアドレス等のLAN設定値が自動で割り当てられます。**手動構成**を選択すると、IPに関する設定をユーザーが任意でできます。
- **UPnPを支援するデバイスがありません。**というエラーメッセージが表示されたら、使用するIPルータ（あるいはNAT）がUPnP機能に対応しているか、もし対応しているなら使用可能になっているか確認してください。IPルータがUPnP機能に対応しているかは、ご使用中のIPルータのマニュアルをご覧ください。

4 FENサーバーに登録されるDVRの名前を**FEN名**に入力した後、**確認**をクリックし、入力している名前が使用可能であるか確認できます。



- FENサーバーに登録されるFENの名前は、DVRの固有の名前です。IDIS Center(オプション)などのClientからDVRのFEN名でシステムに簡単に接続することができます。確認後正常に登録されたら、終了が活性化されます。
- DVRの名前を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- ユーザーのネットワーク環境によってはFENサービスが作動せず、ネットワークに接続できない場合があります。この場合、ポートを手動で設定する必要があります。ポート設定に対する詳細は、**ネットワーク設定 ページ 43**を参照ください。

5 **完了**をクリックして、ネットワーク設定ウィザードを終了してください。



- **システム終了**：システムを終了します。ダイアログボックスが表示されたらもう一度**システム終了**を押してください。

日時/時間

- **日付**：日付を変更することができます。
- **時間**：時間を変更することができます。
- **日付形式/時間形式**：日付や時間の表示方式を変更することができます。
- **標準時間帯**：標準時間帯を設定することができます。

画面に表示されている地図にマウスや方向ボタンで標準時間帯を選択することができます。

- **サマータイム使用**：サマータイムを適用できます。
- **タイムサーバー**：タイムサーバーを選択し、時間を同期化することができます。

1 **自動調整**項目を選択してください。

2 **タイムサーバー**のIPアドレスまたはドメイン名を入力するか、★を選択して登録されたタイムサーバーのリストから適切なタイムサーバーを選択してください。

3 サーバーと時間を同期化する**調整間隔**を選択してください。

4 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。

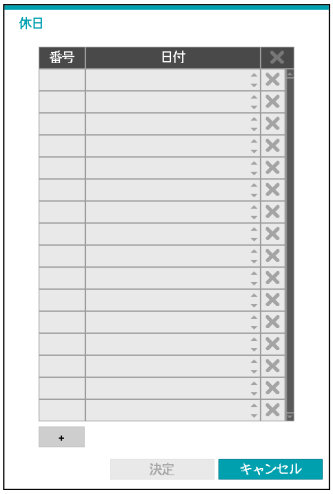
- **ネットワーク－IPアドレス**設定で**DNSサーバー**を設定した場合、タイムサーバー項目にタイムサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- **サーバーとして動作する**を選択すると、本機がタイムサーバーとして動作することになり、他のデバイスがこのサーバーの時間情報を使って同期化することができます。

- **休日**：休日を追加/削除できます。設定された休日には、録画スケジュール設定で設定した休日のスケジュールに従って録画されます。

1 設定ウィンドウの下の**+**ボタンを選択してください。

2 休日に指定したい日付を入力してください。

3 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。



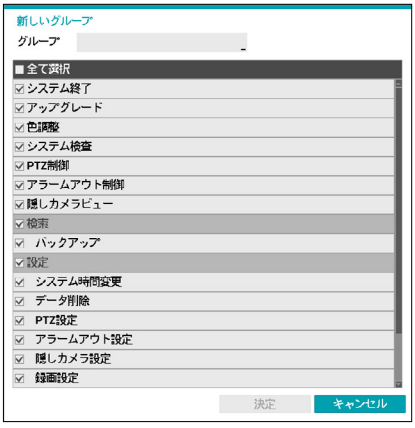
各項目の右側の×アイコンを押すと、設定された休日を削除することができます。

使用者

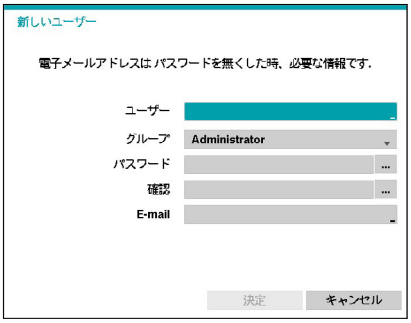
ユーザーを登録し、権限を与えて管理させることができます。

1 **+グループ**を押してグループの名前を入力してください。グループ名は最大15文字まで入力できます。

2 選択したグループの権限を選択してください。設定できる権限の種類は**グループ設定表 ページ 27**を参照ください。



3 **+ユーザー**を押してユーザーの名前を入力してください。



4 ユーザーが属するグループを指定し、パスワードを入力してください。パスワードは数字を混ぜて8~16文字以内に指定してください。

5 **決定**を押してください。

6 **自動ログイン**項目と**自動ログアウト**項目を選択してください。

7 **決定**ボタンを押して設定を終了してください。

- グループ名、ユーザー名、パスワードはスクリーンキーボードでも入力することができます。スクリーンキーボードの使い方は**スクリーンキーボードによる文字列入力 ページ 19**を参照ください。
- 登録されたユーザーとグループを削除するには、各項目の右側にあるアイコンを押してください。**グループAdministrator**とユーザーadminは削除できません。
- 画面上段のユーザーおよびグループ名の右側にあるアイコンを押すと、**グループAdministrator**と**ユーザーadmin**を除く全てのグループやユーザーを一度に削除することができます。
- すでに作られたグループやユーザーの設定値を変更するためには、パスワードを入力する必要があります。
- **グループAdministrator**の権限オプションは変更できません。
- **ユーザーadmin**を選択したとき、パスワード以外の情報は変更することができません。
- システムが起動されると、**自動ログイン**項目で選択したアカウントに自動ログインされます。
- **自動ログアウト**設定された時間の間にシステムを操作しない状態が続くと、自動的にログアウトされます。

グループ設定表

システム終了	システムメニューでシステムを終了することができます。
アップグレード	システムメニューでシステム情報設定をアップデートすることができます。
色調整	各カメラの輝度、コントラスト、彩度、色調が調整できます。
システム検査	システム検査の結果であるシステムの状態が確認できます。
PTZ制御	PTZカメラを制御することができます。
アラームアウト制御	アラーム出力発生時にリセットすることができます。 リモコンの**アラーム**ボタンまたは遠隔プログラムの**アラームアウト制御**ボタンを押して、アラーム出力をリセットすることができます。
隠しカメラ表示	監視モードや検索モードで隠しカメラに設定されたカメラを表示することができます。
検索	**バックアップ**	バックアップ権限のある場合、検索および映像保存ができます。バックアップ権限がない場合、検索のみできます
設定	**システム時間の変更**	システムの日時/時間を変更することができます。
	データ削除	システムに保存されているデータを削除することができます。
	PTZ設定	PTZに関する設定を行うことができます。
	アラーム出力設定	アラーム出力の設定を行うことができます。
	隠しカメラ設定	隠しカメラの設定を行うことができます。
	録画設定	録画設定に関する環境設定を行うことができます。
	設定読込	以前に保存したDVR設定を読み込むことができます。
	設定保存	現在のDVR設定を保存することができます。
	VNC 設定	ネットワークを通じてDVRに接続し制御することができます。

HDD

HDDに関する設定を行うことができます。

- **タイプ**：実装されているディスクの種類が表示されます。
- **容量**：各ディスクの容量が表示されます。
- **初期化**：フォーマットされたディスクの場合、**録画**、**使用しない**のいずれか一つが表示されます。まだフォーマットされていないディスクを接続すると、**初期化されていません**というメッセージが表示されます。
- **情報**：実装されているディスクが録画に使用されているかを表します。他システムで使用していたディスクを接続した場合、**外部**と表示されます。各ディスクの**情報**を選択して保存されたデータの時間情報を確認したり、**削除**を選択してデータを削除したりすることができます。

- 各ディスクの**初期化**を選択すると、録画データが保存できるようにフォーマットすることができます。
- 用途は**使用しない**を選択してフォーマットすると、そのディスクは録画用として使用しません。
- 本DVRはSATA2 HDDに対応します。

システムイベント

システムイベントの監視に関する設定を行うことができます。

- **設定**：各システムイベントの監視間隔および監視項目を設定することができます。
- **動作**：各イベント発生時に実行されるアラーム出力(DVRのアラーム出力チャンネル、DVRのビープ)および通知(メール、LAN1～5、警告ウィンドウ)機能を設定することができます。

監視項目

システム	監視間隔が設定でき、周期的なシステムの自己点検を行います。
システム起動、システム再起動、システム終了	システム起動、再起動、または終了されると、設定した動作を行います。
緊急録画	緊急録画発生時には設定した動作が始まります。
録画を確認	録画するようにスケジュールされている場合、設定されたスケジュール上の監視間隔の間に録画されていなければ異常になります。 **スケジュールオン**を選択した後、曜日や時間範囲、監視間隔を設定します。設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。☒アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。
アラームインを確認	アラーム入力を使用しているとき、設定した監視間隔の間にアラーム入力が発生しない場合は異常となります。
ディスクフル警告	全体ディスク容量の80~99%まで設定することができ、ディスク容量が該当する比率以上を占めた場合にイベントが発生します。
ディスクフル	全体のディスクがフルになったときイベントが発生します。
ディスクエラー	割合は10~90%まで10%単位で設定することができます。ディスク容量のうち指定した割合以上に損傷した場合イベントが発生します。
ディスク温度	温度を設定することができます。いずれかのHDDの温度が指定した設定温度に達したり、高くなるとイベントが発生します。
ディスク S.M.A.R.T.	S.M.A.R.T.に対応するディスクにエラーが発生した場合、イベントが発生します。
ディスク構成の変更	HDD交換後などに、システムが再起動されると発生するイベントです。
ファンエラー	本体内部のファンが正常に動作しないときに、イベントが発生します。
メモリなし	HDDが接続されていない時に発生するイベントです。

- システムイベントの場合、動作で電子メール通知だけが選択できます。
- 通知(コールバック)機能を使用するためには、DVRがコールバックを受けるPCの遠隔ソフトに登録する必要があります。

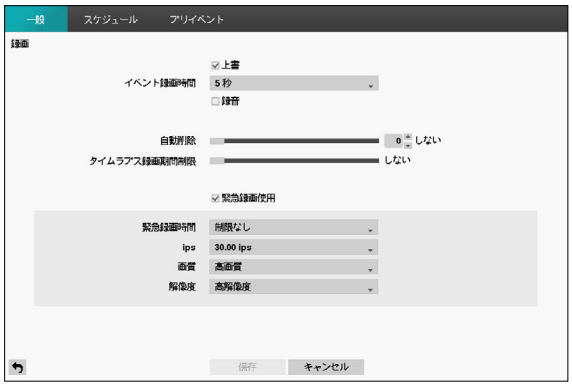
製品情報

録画設定

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

一般

録画に関する一般的な設定を行うことができます。



- **上書**：録画用のHDDの空き容量がなくなると、ディスク単位で古いデータから削除され新しいデータが保存されます。**上書**を解除すると、HDDの空き容量がなくなったら録画は中止されます。
- **イベント録画時間**：イベント発生時、動作連動に録画が指定されている場合、このイベント録画期間で指定した時間だけ連動録画が行われます。
- **録音保存**：映像を録画する時、オーディオを一緒に録音します。
- **自動削除**：一定の期間が経過した録画データは、自動的に削除することができます。削除可能な期間は1日～999日まで設定できます。

自動削除機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。自動削除データを選択して期間を設定すると現在の時刻から設定された期間以内の録画データだけを保管し、それ以上経過した録画データは自動的に削除されます。録画データは毎日深夜0時に自動削除され、システムが起動される場合や**自動削除**設定を変更する場合にも削除されます。

- **タイムラプス録画期間制限**：イベント録画映像をより長く保管することができます。タイムラプス録画の期間制限機能を使用しないためには、**しない**に設定してください。この機能は録画ディスクの容量が十分に大きいため設定した期間よりもっと長くデータを保存した場合に作動し、上書きモードで設定された期間より古い**タイプラプス録画映像デ**ータに上書きをしながら新しいデータを保存します。

- ディスクに保存されている映像の期間が、設定した**タイムラプス録画期間制限**期間よりもっと短い場合には通常のように**イベント録画映像**と**タイプラプス映像の**中で、最も古いデータを先に削除します。
- 録画の画質や解像度、動き、その他ユーザーの設定内容によってシステムの録画期間が変更される場合があるため、場合によっては**タイプラプス録画期間制限で**設定した期間が保障されない場合もあります。

- **緊急録画使用**：緊急録画機能を使用するか否かを設定することができます。
- **緊急録画期間**：緊急録画を自動的に解除することができます。緊急録画期間は5分～1時間まで設定することができます。自動解除機能を使用しないためには、期間を**制限なし**に設定してください。
- **ips、画質、解像度:** 緊急録画時の録画速度、画質および解像度を設定することができます。

スケジュール

<単純モード>

<高級モード>

スケジュール作動を解除すると、スケジュールに関わらずスケジュール録画が中断され、各カメラ画面の左上にアイコンが表示されます。**緊急録画**ボタンを押すと、表示とともに緊急録画が行われます。

録画スケジュールのモードは、**単純モード**と**高級モード**から一つを選択することができます。**高級モード**を選択すると、各イベントに対してそれぞれ録画スケジュールを設定することができます。

アイコンを選択して、スケジュールを削除することができます。

- 録画スケジュールモードを変更すると、変更時に作動していたイベント連動動作は停止します。
- 設定ウィンドウ左下の+ボタンを押すと、新しいスケジュールが追加されます。**曜日**を選択し、録画スケジュールを設定する**曜日**、または**全て**を選択することができます。**範囲**を選択し、時間の範囲を選択することができます。

単純モード設定

- **モード**：**録画しない**、**連続**録画、**イベ**ントま**たは指定時間およびイ**ベントに設定することができます。

録画しない	**緊急録画**ボタンを押さない限り、スケジュールで指定された曜日や時間の範囲では録画が行われません。
連続録画	画面の左上にアイコンが表示され、スケジュールされた時間帯になると、アイコンが表示されて録画が始まります。
イベント	画面の左上にアイコンが表示され、そのイベントが発生すると、アイコンが表示されて録画が始まります。 イベントが設定されているとイベントが発生せずに録画されていないときは、アイコンとアイコンが表示されます。イベントが発生して録画されるときは、アイコンとアイコンが表示されます。
指定時間およびイベント	画面の左上にアイコンが表示され、**設定**で指定した時間どおりに録画 ips、画質、解像度で録画されます。イベントが発生したらアイコンがに変わり、設定でイベントに**設定**した録画 ips、画質、解像度で録画されます。

- **チャンネル**：スケジュールを適用するカメラを選択することができます。
- **設定**：選択するとタイムラプスおよびイベント録画モードに対して初期値をそれぞれ設定できます。

高級モード設定

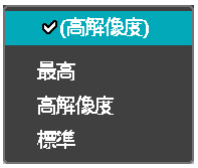
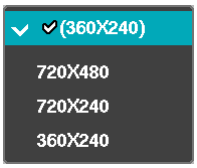
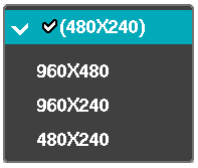
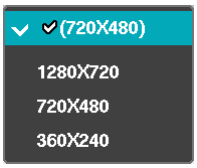
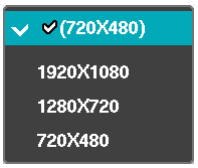
設定を選択するとイベントの種類による録画設定を行うことができます。

- **種類**：時間録画及びそれぞれのイベント別の録画を表示されるアイコンは次のとおりです。

	タイムラプス(時間)		映像信号なし
	アラーム入力		映像信号遮断
	モーション感知		テキストイン
	トリップゾーン		

- **ips、画質、解像度:** 緊急録画時の録画速度、画質および解像度を設定することができます。
- **期間**：指定したイベントが発生したときに録画される期間を選択することができます。

- 設定しないチャンネルに対しては、上位のスケジュールの設定値が適用されます。
- 特定のチャンネルで同時に複数のイベントが発生して録画が始まる状況において、各イベントの連動録画に対する**ips、画質、解像度**および**期間**の設定値が異なる場合、より上位の設定値に従います。
- 解像度設定の際、イベント別一括設定とイベントの各チャンネル別の個別設定がすべて可能です。イベント別一括設定では、**最高画質、高画質、標準**のうちから一つを選択することができます。**最高画質**に設定すると各カメラモード(720、960、HD、FullHD)がサポートする最も高い解像度を、**標準**に設定すると最も低い解像度を、**高画質**に設定するとその他の解像度を適用します。イベントの各チャンネル別個別設定では、各カメラのモードにしたがって当該モードに対応する解像度を選択することができます。

 イベント別設定	 カメラモード720
 カメラモード960	 カメラモードHD
 カメラモードFullHD	

プリイベント

イベントが発生したときに指定された期間だけ、以前の映像を含めて録画する機能です。

- **番号**：プリイベントを設定するカメラを選択/解除できます。
- **ips、画質、解像度:** 緊急録画時の録画速度、画質および解像度を設定することができます。
- **期間**：プリイベント録画期間を設定することができます。

- スケジュール上、イベントモードのスケジュールが一つもない場合はプリイベント録画のためにイベントモードスケジュールを追加するように警告ウィンドウが表示されます。
- **指定時間およびイベント**モードの場合にも警告ウィンドウは表示されます。

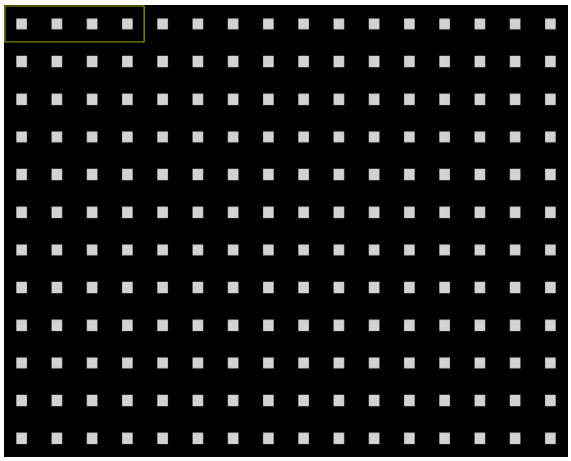
イベント設定

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

モーション

- **番号**：モーション感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)~5（高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。

- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。

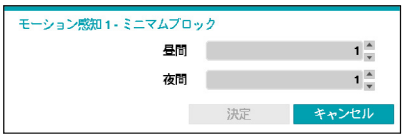


エリア設定画面でリモコンの方向ボタンを利用し、ブロック単位のエリア選択ウィンドウを上下左右に移動することができます。選択ウィンドウは4つのブロックの大きさの1列に該当し、**カメラ**ボタンで各ブロックを選択／解除することができます。マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択／解除／反転させることもできます。

エリア設定画面でリモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押すか、マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。

- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **エリアビュー:** 選択エリアの外部から内部にモーションが発生する場合の動きに対するDVRの反応を確認します。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

- **ミニマムブロック**：設定されたブロックの数以上でモーションを感知しないと、モーション感知イベントが発生しません。この値を1から**エリア**設定で選択されたブロックの数以下まで選択することができ、週間・夜間を区分してそれぞれ設定します。



- **モーション感知無視間隔**：モーションが感知された時間以降、一定の時間内に感知されたモーションについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～10秒または「しない」を選択することができます。

> モーション感知無視間隔は、モーション感知連動録画にはなんの影響も及ぼしません。

- **動作**：モーションを感知したときに実行する動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルとビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1～5、FTP 、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

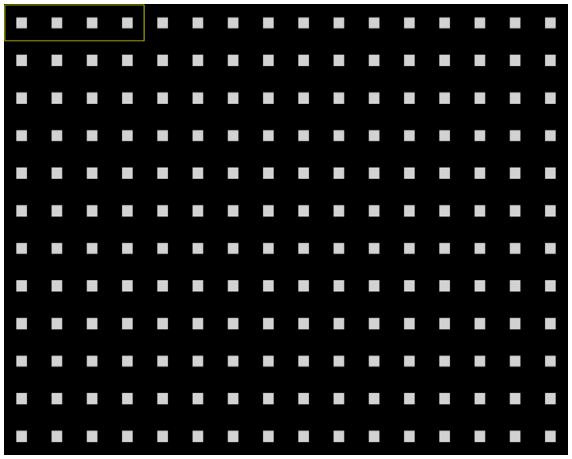
> コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでDVRが登録されている必要があります。

- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。

トリップゾーン

- **番号**：モーション感知機能を設定するカメラを選択/解除できます。
- **感度**：昼間および夜間に区分され、それぞれ1(低感度)～5（高感度)の間の5段階に感度を設定することができます。

- **エリア**：モーション感知をするエリアをブロック単位で設定します。



エリア設定画面でリモコンの方向ボタンを利用し、ブロック単位のエリア選択ウィンドウを上下左右に移動することができます。選択ウィンドウは4つのブロックの大きさの1列に該当し、**カメラ**ボタンで各ブロックを選択／解除することができます。

マウスを利用してエリアをドラックしたあと、選択／解除／反転させることもできます。

エリア設定画面でリモコンの**ENTER**(↵)ボタンを押すか、マウスの右クリックでエリア設定メニューを呼び出すことができます。

- **選択**：選択ウィンドウで選択されたブロックを選択します。
- **解除**：選択ウィンドウで選択されたブロックを解除します。
- **反転**：選択ウィンドウで選択されたブロックは解除し、解除されたブロックは選択します。
- **全て選択**：画面全体のブロックを選択します。
- **全て解除**：画面全体のブロックを解除します。
- **全て反転**：選択された画面全体のブロックを解除し、解除された画面全体のブロックを選択します。
- **エリアビュー:** 選択エリアの外部から内部にモーションが発生する場合の動きに対するDVRの反応を確認します。
- **決定**：変更されたブロック設定を保存し、エリア設定メニューから出ます。
- **キャンセル**：変更されたブロック設定を保存せず、エリア設定メニューから出ます。

- **トリップゾーン感知無視間隔**：トリップゾーン感知された時間以降、一定の時間内に感知されたトリップゾーンについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。1秒～10秒または「しない」を選択することができます。

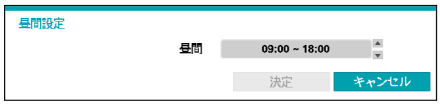
  トリップゾーン感知無視間隔は、トリップゾーン感知連動録画にはなんの影響も及ぼしません。

- **動作**：モーションを感知したときに実行する動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。

- **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルとビープを選択することができます。
- **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、FTP 、警告ウィンドウを設定することができます。
- **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでDVRが登録されている必要があります。

- **昼間設定**：昼間に指定する時間範囲を設定します。時間は15分単位で設定でき、指定した範囲外の時間は夜間に分類されます。



アラーム入力

- **番号**：アラーム入力を選択/解除できます。
- **タイトル**：キーボード入力ウィンドウからタイトルを入力することができます。
- **タイプ**：アラームの種類を変更することができます。
- **動作**：アラーム入力を感知したときの動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルとビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでDVRが登録されている必要があります。

映像信号なし

- **映像信号なしの期間:** 映像信号なしが感知された時間以降、一定の時間内に感知された映像信号なしについてはイベントログおよび遠隔地通知機能を行いません。0.1秒～15秒または**しない**を選択することができます。
- **動作**：映像信号なしイベント発生時の動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルとビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやラン1～5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでDVRが登録されている必要があります。

- **無視時間使用**：**時間設定...**選択し、映像信号なしの感知無視時間帯を設定します。設定した時間には映像信号なしの感知機能が作動しません。

映像信号遮断

- **番号:** 選択/解除して映像信号遮断感知機能を設定するカメラを選択/解除することができます。
- **感度:** 0(使用しない)または 1(鈍い) ~ 15(敏感) までの値で感度の値を変更することができ、黒と白を区分してそれぞれ設定します。

ノイズがひどいカメラの場合、感度の値を低く設定すると映像信号遮断が感知されなくなる恐れがあります。

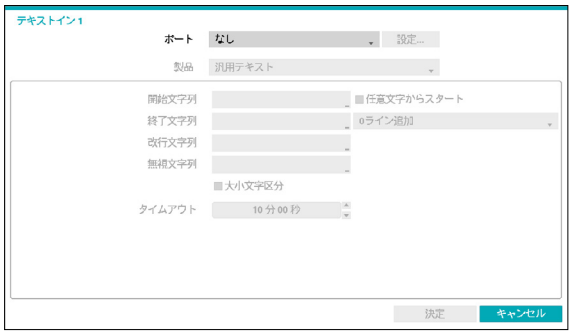
- **活性化時間:** 映像信号遮断が感知された後、その状態が持続して映像信号遮断イベントを発生させる基準時間です。したがって、映像信号遮断が感知されても設定した活性化時間以内に再度映像信号がもとに復帰した場合は、映像信号遮断イベントとして見なしません。
- **動作:** 映像信号遮断の発生時に実行する動作を設定することができます。
  - **録画:** 映像信号遮断の発生時に連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや時間およびイベントモードに設定されている場合、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラームアウト:** 映像信号遮断の発生時に行われるアラーム出力チャンネルとビープを選択することができます。
  - **通知:** 映像信号遮断の発生時に行われる通知機能で、メールやラン1～5、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ:** 映像信号遮断の発生時にPTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでDVRが登録されている必要があります。

- **イベント無視時間の使用: 時間設定...**を選択し、映像信号遮断感知を無視する時間帯を設定することができます。設定した時間中は映像信号遮断感知機能が作動しません。

テキストイン

- **設定**：選択した番号のテキストインデバイスを設定することができます。



- ポート設定を除いたほかの設定を全てのテキストインデバイスに対して一度に行うことができます。
- 複数のチャンネルから大量のテキストインが一度に入ってくると、システムの性能に影響を及ぼす可能性があります。

- **テキストイン製品**：ポート設定の下の部分が、そのテキストインデバイスに合うように設定ウィンドウが変更されて表示されます。現時の設定ウィンドウの内容は汎用テキストに関する設定内容です。
- **開始文字列**：**開始文字列**を設定すると、これに該当する文字列が入力されるとき、1つのトランザクションが開始したと認識します。開始文字列を任意の文字をもって開始として指定することができます。この場合、どんな文字が入力されても1つのトランザクションが始まったと認識します。
- **終了文字列**：**終了文字列**を設定すると、これに該当する文字列が入力されるとき、1つのトランザクションが終了したと認識します。終了文字列の隣に**0ライン追加**を選択し、1～10間の値に設定することができます。終了文字列に文字列が入力されたあと、ここで設定した追加ラインだけ入力されると1つのトランザクションが終わったと認識します。
- **改行文字列**：ラインの終わりを決定する文字列を入力することができます。コントロール文字は⇧を押して^に続く文字を選択すると入力することができます。例えば、Carriage Returnは^Mであり、Line Feed(New Line)は^Jになります。
- **無視文字列**：トランザクションを記録するとき除外される文字列を設定することができます。
- **大小文字区分**：**開始文字列**、**終了文字列**、**改行文字列**、**無視文字列**で設定した文字列が大小文字を区分するか否かを選択することができます。

コントロール文字の場合は、**大小文字の区分**には影響されません。

- **タイムアウト**：**タイムアウト**期間を設定すると、最後の文字列が入力されたあとに設定されたタイムアウト期間に新しい文字列が入力されなかったら、1つのトランザクションが終わったと認識します。5秒～15分まで設定できます。

ポートをRS232やRS485、USB-Serial 1～8、LAN 1～4の中から一つを選択するとき、ポート設定ボタンが有効化されます。**設定**ボタンを押して**ボーレート**、**データ**、**ストップビット**、**パリティー**値を正しく設定してください。

- ポートをLAN1～4に選択する場合、ポート設定ボタンを押してネットワークポート値を設定します。
- USB-シリアルポートを使用する場合、システム駆動中、USBケーブルを取り外すとテキストイン機能に誤作動が発生することがあります。

- **件名**：テキストインデバイスのタイトルを決めることができます。
- **動作**：テキストインが発生したときの動作を設定することができます。
  - **録画**：イベント発生時、連動録画を行うカメラを選択することができます。スケジュールがイベントや指定時間およびイベントモードで設定されていたら、設定されたカメラに対して連動録画が行われます。
  - **アラーム出力**：イベント発生時に行われるアラーム出力チャンネルとビープを選択することができます。
  - **通知**：イベント発生時に起動される通知機能として、メールやLAN1~5、FTP、警告ウィンドウを設定することができます。
  - **PTZ**：イベント発生時、PTZカメラを特定のプリセットに移動させることができます。

コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでDVRが登録されている必要があります。

カメラ設定

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

一般

カメラを使用するか否かを選択したり、タイトルを編集したりすることができます。

- **番号:** 選択/解除してカメラをOn/Offさせることができます。
- **タイトル**：カメラのタイトルを編集することができます。
- **使用**：**普通**、**隠し1**、**隠し2**に設定することができます。

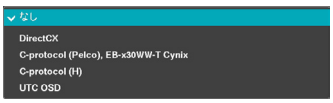
  隠し1または**隠し2**で設定する場合、隠しカメラを見る権限のないユーザーは、そのカメラの映像を監視・再生できません。**隠し1**の場合は映像は表示されないが、様々なOSDは表示されます。**隠し2**の場合はカメラが未接続なように映像だけではなくOSDも表示されません。
- **タイプ:** カメラがサポートするタイプの値をAuto、SD、HD-TVIまたはAHDの中から選択することができます。“Auto”(自動)を選択すると、カメラが対応するタイプの値をDVRが自動で感知します。
- **モード:** カメラがサポートする水平解像度の値を自動、720、960、HDまたはFull HDの中から選択することができます。

- 自動感知の場合、再起動をしなくても入力した解像度が適用され、720、HD、Full HD モードのみ動作し、960カメラの場合は720モードに設定されます。
- モードを変更するとシステムが再起動されます。

PTZ

- **製品:** PTZカメラの種類を選択することができます。
- **ID:** 当該カメラをPTZモード状態で制御することができます。

〈RS232/RS485〉



〈UTC〉

- **モード: なし**、**UTC**、**RS232**、**RS485**の中からひとつ選ぶことができます。UTCは HDと Full HD カメラのみ使用されます。

カメラによってUTC動作が正常に作動しないことがあります。

- ポート項目でPTZカメラと通信するポートを RS232、RS485の中からひとつ選ぶことができます。その際、仮にネットワークや遠隔制御、テキストインなど他の装置が同じポートを使用している場合、ポートの値が重なるため、その装置は使用できなくなるという警告ウィンドウが開きます。ポートをRS232かRS485のうちからひとつ選ぶと、ポート設定ボタンが活性化され、設定…ボタンを押すとポートのポート速度、データ、停止、パリティー値を設定するウィンドウが開きます。

Clip Privacy

バックアップに適用するプライバシーマスキングゾーンを設定することができます(最大16個)。

- **番号:** 選択/解除してカメラをOn/Offさせることができます。
- **Privacy Zone:** 当該チャンネルのライブ画面が全画面表示され、マウスでドラッグすることでプライバシーゾーンを設定することができます。

- **削除:** 選択されたプライバシーマスキングエリアを削除します。
- **全て削除:** 全てのプライバシーマスキングエリアを削除します。

- **保存:** 選択すると、変更事項を保存し、プライバシーマスキングエリア設定ウィンドウを終了します。
- **キャンセル:** 選択すると、変更事項を保存せずにプライバシーマスキングエリア設定ウィンドを終了します。

SD画像には、マスキング領域を設定する際に制限があります。

プライバシーマスキング

ライブや録画画面に適用するプライバシーマスキングを設定することができます(最大4つ)。

- **番号:** 選択/解除してカメラをOn/Offさせることができます。
- **Privacy Zone:** 当該チャンネルのライブ画面が全画面表示され、マウスでドラッグすることでプライバシーゾーンを設定することができます。

- **削除:** 選択されたプライバシーマスキングエリアを削除します。
- **全て削除:** 全てのプライバシーマスキングエリアを削除します。
- **保存:** 選択すると、変更事項を保存し、プライバシーマスキングエリア設定ウィンドウを終了します。
- **キャンセル:** 選択すると、変更事項を保存せずにプライバシーマスキングエリア設定ウィンドを終了します。

SD画像には、マスキング領域を設定する際に制限があります。

装置の設定

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

オーディオ

接続カメラを設定し**オーディオ出力**を選択すると接続カメラの録画時に当該チャンネルオーディオを同時に録音されます。

アラーム出力

スケジュールリストの左下にある+を選択し、スケジュールを追加することができます。
スケジュールは**曜日**別に選択することができます。
✕アイコンを選択してスケジュールを削除することができます。

- **出力時間**：5秒から15分まで設定することができ、アラーム出力はここで設定された時間の間に作動します。
- **タイトル**：アラーム出力の件名を設定することができます。

- **リレー反転**：DVRの背面パネルに接続されるアラーム出力タイプを反転させることができます (NO⇒NC)。

- **範囲**：スケジュールする時間帯を変更することができます。
- **モード**：**イベント**、**オン**、**オフ**を選択することができます。

イベント	イベントに連動しアラーム出力が発生します。
オン	アラーム出力が常にオンになります。
オフ	アラーム出力が常にオフになります。

- **チャンネル**：アラーム出力に使用するポートおよびビープ出力を設定することができます。

遠隔制御

- **ポート**：なし、RS232、RS485の中から1つを選択することができます。この場合、PTZカメラ、またはテキストインなどの装置が同じポートを使用しているとポートが重複するので警告が表示されます。**ポート**をRS232やRS485の中から1つを選択し、右側の設定…を選択し、**ボーレート、データ長、ストップビット、パリティー**値を設定することができます。**遠隔制御製品**の中から必要な製品を選択して使用することができます。

その他

装置のメニューで“その他”を選択して下さい。

- UPSと電波時計を別に設定することができます。各装置の**ポート**を選択するとRS232を選択することができます。この場合、PTZカメラ、またはテキストインなどの装置が同じポートを使用しているとポートが重複するので警告が表示されます。
- **ポート**をRS232に選択し、右側の設定…を選択し、**ボーレート**、**データ長**、**ストップビット**、**パリティー**を設定することができます。

  電波時計と本DVRが正常に接続されていると30分単位に電波時計の時刻に本DVRの時刻が同期されます。電波時計との接続及び設定方法は電波時計の説明書を参照してください。

ネットワーク設定

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

一般

- **マルチストリーム：** ひとつ以上のストリームに対応します。iRASなどのClientから画面分割モードまたはチャンネルに応じて互いに異なるストリームを使用するように設定することができます。

再生中、ネットワーク伝送速度が低下する場合があります。

- **bps/ips:** 設定した速度以下でのみ映像がネットワークで伝送されます。伝送速度の単位は、bpsとipsのうちから選択することができます。画質や解像度の設定により、bps/ips設定が可能な値が異なります。
- **画質:** 設定した画質で映像がネットワークに伝送されます。
- **解像度:** 設定した解像度で映像がネットワークに伝送されます。

映像伝送速度は最大速度です。ネットワーク環境により設定した速度より少ない数の映像が伝送される場合があります。

- **ネットワーク幅制限**：制限したいバンド幅を設定します。

ネットワークバンド幅制限を設定する場合、遠隔監視映像が途切れる場合があります。

- **遠隔オーディオチャンネル**：選択したチャンネルのオーディオが遠隔プログラムに伝送されます。**クライアントから選択**を選択すると、遠隔プログラムで選択されたチャンネルのオーディオが伝送されます。

オーディオを伝送するときネットワーク環境によって途中で途切れることがあるため、音声との同期が合わないことがあります。

- **データ伝送をするためのSSLを適用**：遠隔監視または遠隔録画のために伝送されるデータにSSL(Secure Sockets Layer)認証を利用したセキュリティ機能が適用されます。

- SSL機能を使用するとき、SSL機能に対応しない遠隔プログラムまたはネットワークキーボードでは本DVRに接続することができません。
- SSL設定を変更すると、これを適用するためにDVRへの接続が一時的に途切れます。
- 本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています(http://www.openssl.org/)。

LAN

種類を**手動**設定、**DHCP**で設定することができます。

手動

- **タイプ**を手動に選択してください。

手動を選択した場合、手動で設定することができます。**IPアドレス、ゲートウェイ、サブネットマスク**の各項目を選択した後、リモコンの方向ボタンまたはマウスホイールを使って数字を増加させたり減少させたりして希望する値に設定します。

- **DNSサーバー**：DNSサーバーのIPアドレスを入力します。
- **ポート番号の設定...:** 遠隔管理、遠隔コールバック、遠隔監視、遠隔検索プログラムの各ポート番号を8000から12000までの値で選択することができ、選択したポート番号に合わせて遠隔プログラムを設定することで遠隔プログラムへの接続が可能となります。
- **UPnP**(Universal Plug and Play、ユニバーサルプラグアンドプレイ)サービスを使用するためには、**UPnP使用**を選択します。UPnPサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)を使用するとき、そのデバイスからDVRへのポートフォーワーディングを自動的に実行することができます。

- 本機能はプライベートIPアドレスで構成されたポートに接近するときに活用されます。
- UPnPサービスを使用するためには、使用するIPルーター(あるいはNAT)がUPnPポートフォーワーディング機能に対応する必要があり、この機能が使用可能な状態になっていなければなりません。
- **UPnP使用**を選択すると、ポート番号は変更することができません。

- **状態**：UPnPサービスを利用してIPルーター(あるいはNAT)でDVRにフォーワーディングされたポート番号が表示されます。
- **テスト**：現在設定されてる値でLAN接続ができているかをテストします。

1 Pingテストを行う目的地のアドレスを入力してください。

2 Pingテストの回数を設定してください。

3 テスト**スタート**ボタンを押してテストを行ってください。テストの結果が表示されます。

4 **閉じる**を押して設定を終了してください。

- ポート変更はファイアウォールなどを使用する場合、ファイアウォールで許容されるポート番号を変更するときに使用します。
- ポートを変更すると、DVRへの遠隔接続が一時的に途切れます。

遠隔プログラムの遠隔地点IP/ポート設定も同様に変更しなければ遠隔プログラムから接続ができません。

DHCP

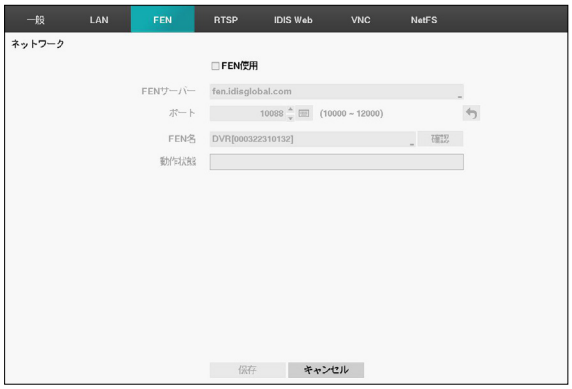
DHCPを選択して**適用**を押すと、DHCPサーバーからIPアドレスなどのネットワーク情報を自動的に割り当てられます。ネットワーク情報が割り当てられると、IPアドレス項目にDVRの現在のIPアドレスが表示されます。

- DHCPを使用する場合、DHCPサーバーがなければIPアドレスが割り当てられないこともあります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- DHCP設定を使用する場合、DVRのIPアドレスはDVRが起動されるたびに変更されることがあります。

遠隔接続のとき、同時に接続できる回線には制限があります。詳細は、販売店までお問い合わせください。

FEN

FENサービスは流動IPを使用するDVRを遠隔管理プログラムで接続するとき、流動IPやルーター設定などを気にすることなく簡単に接続できるようにする機能です。



- **FENを使用**：FENサービスを使用する場合はチェックしてください。
- **FENサーバー**：FENサーバーのIPアドレスやドメイン名を入力することができます。

ネットワーク–IPアドレス設定でDNSサーバーを設定した場合、**FENサーバー**項目にFENサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。

- **ポート**：FENサーバーのポート番号を設定することができます。

IPルーター(あるいはNAT)を使用する場合、ポート設定などのネットワーク機能はIPルーター(あるいはNAT)の使い方に従います。

- **FEN名前**：FENサーバーに登録されるDVRの名前を入力したあと検査して登録してください。FENサーバーに登録されるDVRの固有名です。

- FEN名項目の確認ボタンをクリックし、入力されたFEN名が使えるかどうかを確認しない場合FEN設定を保存することができません。
- FEN名を入力しなかったりFENサーバーにすでに登録されている名前を入力したりすると、エラーメッセージが表示されます。
- FEN名に#、¥、%の記号が含まれている場合、ウェブビューアプログラムでDVRにアクセスする時にアクセスができないときがあります。

- **状態**：FENサーバーに登録したデバイスの状態を確認することができます。

  設定を変更した後**適用**を選択すると、DVRのFEN名がFENサーバーに登録されます。

FEN設定が正常に行われた場合、再びFEN設定画面に入るときに**ヘルプ**項目にFENサーバーのヘルプに関する情報が表示されます。

RTSP

RTSP(Real-Time Streaming Protocol)、リアルタイムストリーミングプロトコルサービスを使用して、リアルタイム監視ができる機能です。

- **RTSPポート:** RTSPサーバーのポート番号を設定することができます。
- **RTPポート:** RTSP開始ポートおよび最終ポートの番号を設定することができます。
- **モバイル使用:** ブラックベリーのようなモバイル機器を利用して遠隔地からDVRに接続することができます。

- **モバイル使用**を選択する場合、**ネットワーク > ウェブガード**の設定に関係なくウェブガードは常に使用するように自動で設定されます。
- ブラックベリーやアンドロイド機器を利用して DVR に接続する場合、IPルーターまたはルーターを使用中か、またはファイアウォールが設置されている場合は UDPポートをすべて開けておかなければなりません。
- RTSPサービスに対応するメディアプレーヤーを通じて遠隔地から DVRに接続してリアルタイム映像を監視することができます。接続の方法は次の通りです。
  - **PCを通じての接続:** メディアプレーヤー(VLC プレーヤー等)を実行した後**rtsp://ID:パスワード@IPアドレス:RTSPポートナンバー/trackID=カメラのチャンネル番号**を入力
  - **モバイル機器(ブラックベリーなど)を通じての接続:** インターネットエクスプローラーを実行させた後、**http://IPアドレス : ウェブガードのポート番号/**入力
- 一部のメディアプレーヤーではネットワークの状態により連続的な映像再生が円滑にいかない場合があります。
- RTSPサービスは、使用しているメディアプレーヤーの種類によってサポートできない場合があります。

IDIS Web

IDIS Webは、インターネット上で別途のプログラム設定なく、遠隔地の映像を監視および検索できるサービスです。

- **IDIS Webサービス使用:** IDIS Webを使うことができます。
- **ポート :** ウェブガード接続に使用するポートの番号を12001から14000までの値に設定することができます。

VNC

VNCサービスとは、ネットワークを通じて遠隔地のPCやモバイルデバイスからDVRに接続して制御する機能を言います。

- **VNC使用**：VNC（Virtual Network Computing、バーチャル・ネットワーク・コンピューティング）サービスをご使用になるためには、**VNC使用**を選択してください。
  - **ポート**：**ポート**を選択し、VNCサーバーのポート番号を設定することができます。
  - **パスワード**：**パスワード**を選択し、遠隔地からDVRに接続する際のパスワードを設定することができます。

VNCサービスを利用して遠隔から接続できる人数は最大3人までです。

遠隔地からDVRを制御するときにキーボードを使用する場合、ショートカットキーの機能は下記の通りです。

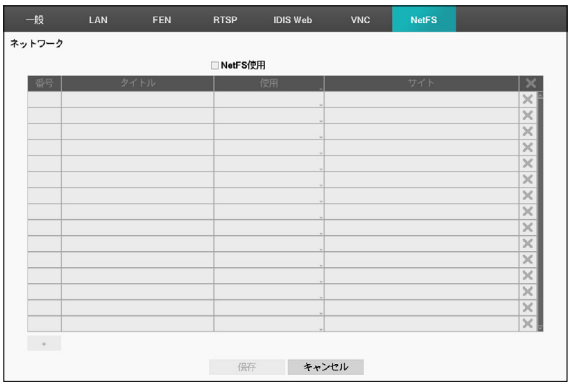
Key	機能
← または h	前面パネルの左側の矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上でも左方向に移動します。
←または l	前面パネルの右側の矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上でも右方向に移動します。
↑または k	前面パネルの上方の矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上でも上方向に移動します。
↓ または j	前面パネルの下方の矢印ボタンを押すときと同様に、メニュー上でも下方向に移動します。
m またはウィンドウズ	前面パネルのMENUボタンを押すときと同様に、画面にリアルタイム監視メニュー、または検索メニューを表示させます。
Enter または Return	前面パネルの再生/一時停止ボタンを押すときと同様に、メニュー設定時に項目を選択したり、入力事項を登録したりするときに使用します。
d または PageUP/ PageDown	前面パネルのDISPLAYボタンを押すときと同様に、分割画面フォーマットを切り替えます。
c または Home	前面パネルのメニューボタンを3秒以上押したときと同様にバックアップを行います。
F5	VNC出力画面を更新して再び表示されます。

NetFS

下記の機能を使用するためには、FTPサイトを登録する必要があります。

- FTPサイトにアップグレード/設定ファイルインポート（エクスポート）/ログエクスポート/印刷用ファイルをアップロードしたり、FTPサイトから直接ダウンロードすることができます。設定の仕方は下記の通りです。
  : 監視モードの（設定）メニュー－システム－一般－アップグレード/インポート/エクスポート
  : 検索モードの(エクスポート) – プリント
- FTPサイトにクリップファイルをアップロードすることができます。設定の仕方は下記の通りです。
  : 検索モードの（エクスポート）－A-Bバックアップまたはバックアップ
- イベント感知のFTPアップロード（システムイベントを除く）することができます。設定の仕方は下記の通りです。
  : 監視モードの（設定）メニュー－イベントアップロードメニュー－FTPタブ－FTP設定
  : 監視モードの（設定）メニュー－イベントメニュー－アクション－イベントアップロード（FTP）設定

- FTPソリューションとしては、FileZillaまたはsmallFtpのご使用をお薦めします。
- 本機能はFTPサイトのPASV（手動モード）のみ対応します。



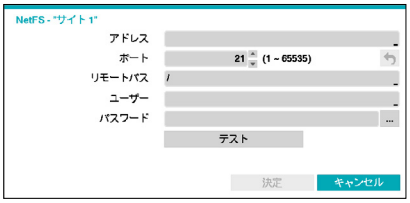
NetFS機能を使用するためには、**NetFS使用**を選択してください。
設定ウィンドウの左下にある+アイコンを選択し、FTPサイトを追加することができます。（最大16個）

- **タイトル**：スクリーンキーボードを利用してNetFSサイトの名前を入力することができます。

- **使用**：NetFS機能の用途を設定することができます。
  - **N/A**：NetFS機能を使用しません。
  - **ALL**：すべてのNetFS機能を使用します。
  - **アップグレード**：NetFSサイトにアップロードされたアップグレードファイルを使用します。
  - **設定**：NetFSサイトにアップロードされた設定ファイルを使インポートしたり、エクスポートしたりします。
  - **システムログ**：NetFSサイトにシステムログを保存します。
  - **バックアップ**：NetFSサイトにビデオクリックを手動で保存したり、イベントが感知されたビデオクリップを自動で保存します。
  - **印刷**：NetFSサイトにイメージをPDFファイルで保存します。
- **サイト**：NetFSサイト情報を入力することができます。

- ネットワーク–NetFS設定画面でFTPサイトを削除すると、イベントアップロード–FTP設定画面でも該当するFTPサイトが削除されます。
- FTPサイトの使用をALLまたはバックアップ以外の設定に変更する場合、FTP通知機能が非活性化されます。
- 各項目の右側の✕アイコンを押すと、NetFSサイトを削除することができます。

スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトの情報を入力します。 情報を入力したあと、**テスト**ボタンをクリックすると、設定したNetFSサイトの情報が正しいかテストを行います。



- **アドレス**：スクリーンキーボードを利用し、NetFSのアドレスを入力します。
- **ポート**：NetFSサイトへ接続するためのポートを設定します。
- **リモートパス**：スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトのフォルダーの経路を入力します。
- **ユーザー、パスワード**：スクリーンキーボードを利用し、NetFSサイトへ接続するためのユーザーやパスワードを入力します。
- **テスト**：情報を入力したあと、**テスト**ボタンをクリックすると、設定したNetFSサイトの情報が正しいかテストを行います。

通知設定

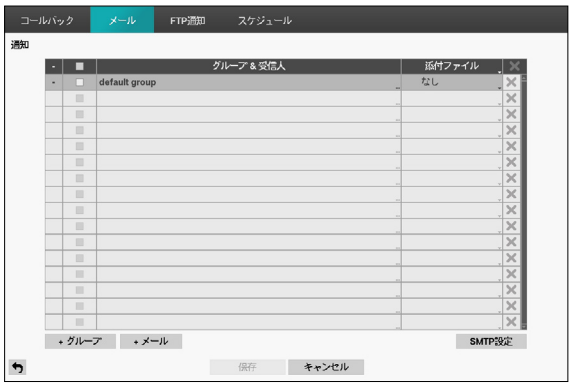
コールバック

遠隔地へのコールバック機能を設定することができます。

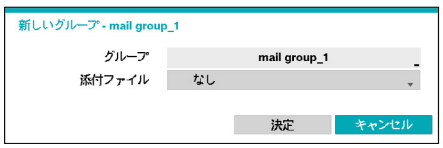
コールバックを受信するサーバーのIPアドレスを設定し、DVRが遠隔接続に失敗したとき、**リトライ**する回数を1回から10回まで選択することができます。

メール

遠隔地へのメール機能を設定することができます。

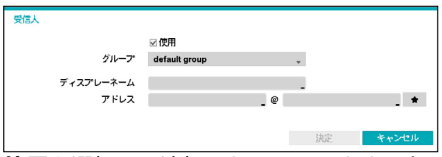


- **+グループ:** メール受信者グループを追加し、電子メールに添付するイメージファイルの形式について設定することができます。



グループを選択すると、キーボード入力ウィンドウが表示され、グループ名を指定することができます。**添付ファイル**から **CBF**を選択するとビデオクリップ形式の、**JPG**を選択するとJPEGファイル形式の、**MP4**を選択するとMP4形式のイベント映像が当該グループへのメール送信の際に添付されます。

- **+メール:** メールアカウントを追加することができます。



使用を選択して追加したメールアカウントの使用可否について選択した後、受け取る人が属している受信者**グループ**を選択します。**表示名**を選択して受信者の表示名をした後、**アドレス**項目に受信者のメールアドレスおよびメールサーバーを設定します。★を選択すると登録されたメールサーバーリストから希望するメールサーバーを選択することができます。

受信人のメールアドレスは必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

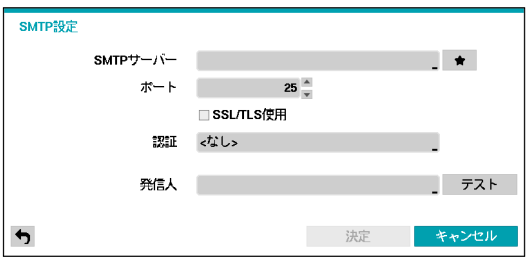
設定されたメールアカウントの右側の添付ファイルアイコンを選択すると、そのアカウントにメールを送信するときにイベント映像が添付されます。

設定されたメールアカウントの右側の✕アイコンを押すと、設定されたアカウントを削除することができます。

SMTPを設定する

メールアカウント設定ウィンドウの右上に**SMTP設定**を選択し、SMTPサーバーを設定することができます。

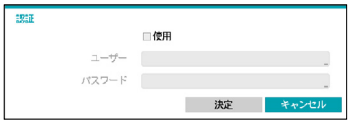
1 **SMTPサーバー**のIPアドレスまたはドメインネーム、SMTPサーバーの**ポート**番号、**発信人**を設定してください。



SMTPサーバーのポート番号の初期値は**25**です。**テスト**を選択すると、現在設定されたアドレスにメールが送信されテストすることができます。**SSL/TLS使用**を選択すると、SSLアクセスを要求するSMTPサーバーを使用することができます。

- **ネットワーク–IPアドレススキャン**設定でDNSサーバーを設定した場合、**SMTPサーバー**項目にSMTPサーバーのIPアドレスの代わりにドメイン名を入力することができます。
- ★を選択すると登録されたメールサーバーリストから希望するメールサーバーを選択することができます。
- **発信人**には必ず@を含む、正しい電子メールのアドレスを入力しなければなりません。

SMTPサーバーにユーザー認証が必要な場合**使用**を選択し、ユーザー認証を使用するかどうかを選択したあと、**ユーザー**名と**パスワード**を設定します。



2 **決定**を押して設定を終了してください。

本製品には、Open SSL Toolkitに使用される目的でOpenSSL Projectで開発した内容が含まれています(http://www.openssl.org/)。

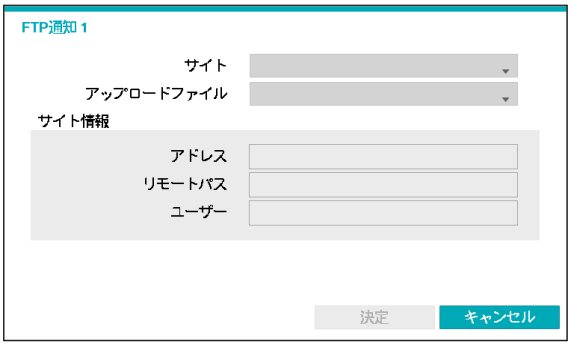
FTP

FTP機能を設定すると、イベント発生時にFTPサイトにイベントが感知されたイメージまたはビデオクリップをアップロードすることができます。画面の左下にある＋を選択し、FTPサイトを追加することができます。

- **FTP**：スクリーンキーボードを利用してFTPサイト情報を入力することができます。
- **アップロードファイル**：FTPサイトにアップロードするファイルフォーマットを選択することができます。

FTPサイトは最大5つまで登録することができます。

＋を選択しFTPサイトを登録します。



- **サイト**：登録されているFTPサイトのリストが表示されます。リストからFTPサイトを選択します。NetFSサイトの**使用**設定が**すべて**、または**バックアップ**以外の設定になっている場合、そのFTPサイトを選択することはできません。ネットワーク–NetFS設定画面で**使用**設定を変更したり、他のFTPサイトを登録したりすることができます。

- **アップロードファイル**：**CBF**、**MP4**または**JPG**を選択することができます。**CBF**を選択する場合、イベントが感知されたビデオクリップをFTPサイトにアップロードします。**MP4**を選択すると、イベントが感知されたビデオクリップ(MP4フォーマット)をFTPサイトにアップロードします。**JPG**を選択する場合、イベントが感知されたイメージファイル(JPEGフォーマット)をFTPサイトにアップロードします。

- FTP通知機能を正しく作動させるためには、ネットワーク–NetFSで**使用**設定、イベント–動作で**イベントアップロード（FTP通知）**設定を行う必要です。
- ネットワーク–NetFS設定画面でFTPサイトを削除すると、通知–FTP設定画面でも該当するFTPサイトが削除されます。
- 短い時間にたくさんのイベントが発生した場合、ビデオクリップがFTPサイトにアップロードされないことがあります。
- システムイベントには対応しません。
- アップロードが数回失敗すると、そのビデオクリップは削除されます。
- DVR起動時にアップロードされなかったビデオクリップはすべて削除されます。

スケジュール

スケジュールリストの左下にある**+**アイコンを選択し、通知スケジュールを追加することができます。

- **曜日**：曜日別に選択することができます。
- **範囲**：イベント通知時間帯を変更することができます。
- **通知**：イベントを感知したときに実行される通知を選択することができます。**メール**、**LAN1～5**、**FTP**、**警告ウィンドウ**などを設定することができます。

- コールバック機能を使用するためには、遠隔プログラムでDVRが登録されている必要があります。
- 設定されたスケジュールの右側の✕アイコンを押すと、設定されたスケジュールを削除することができます。

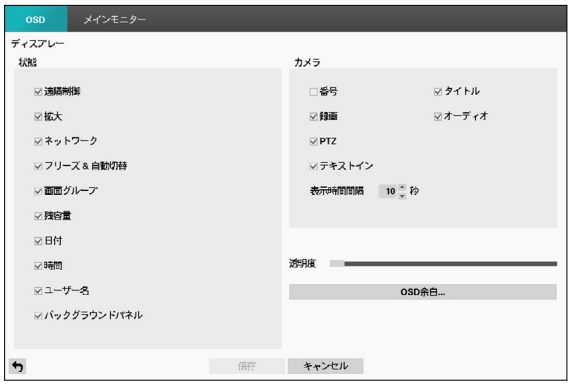
- **サマリーEmail間隔**：決められた時間ごとに、イベントの内容を要約したメールを遠隔地に伝送します。

ディスプレー設定

設定メニューの使い方は**メニューの使い方 ページ 19**を参照ください。

OSD

OSD(On Screen Display)情報を画面下に表示するように設定することができます。



状態について

- **遠隔制御:** システムのIDが 0か、リモコンを設定して使用できる場合に アイコンを表示します。
- **拡大:** 画面の拡大状態時に アイコンを表示します。
- **ネットワーク:** ネットワークに接続されると アイコンを表示します。ネットワークを通じて双方向オーディオを使用中の場合は アイコンを、VNCサービスが具現中の場合は アイコンを表示します。
- **画面停止 & 自動切替:** 一時停止状態の場合に アイコンを、自動切替モードの場合に アイコンを表示します。
- **画面グループ:** 何回目の画面かを表示します。
- **残りの空間:** 上書き保存が選択されている場合には アイコンを、そうでない場合には残りの容量を%単位で表示します。
- **日付**、**時間**：日時と時間が表示されます。
- **ユーザー名:** 画面右側下段にログインしたIDを表示します。
- **背景パネル:** OSD情報が表示される画面下段部の背景パネルを半透明の黒で表示します。

カメラについて

- **番号**：カメラ番号がカメラ画面の左上に表示されます。
- **タイトル**：カメラタイトルがカメラ画面の左上に表示されます。
- **録画**：録画やスケジュールに関するアイコンが表示されます。
- **オーディオ**：該当するチャンネルのオーディオを出力しているときは、アイコンが表示されます。
- **PTZ**：カメラがPTZカメラに設定されていると、アイコンを表示します。
- **テキストイン**：テキストインデバイスから入力される文字列が表示されます。**表示期間**を選択し、テキストイン文字列が画面に表示される表示期間を設定することができます。テキストイン文字列は単一画面のときだけに表示されます。
- **透明度:** メニューの透明度がそれに合わせて変更されます。
- **OSD余白...:** 垂直、水平の余白を設定することができます。使用するモニターに合わせて適当なOSDの位置を選択してください。

メインモニター

モニターに関する設定を行うことができます。

- **モード**：**フル切替**または**切替**の中からひとつ選ぶことができます。フル切替監視モードでは全体画面およびPIP分割画面ですべてのチャンネルが順番に切り替わながら表示されます。切替監視モードでは画面分割で右下の一つの画面だけが自動的に切り替わります。
- **カメラ切替時間**：1秒～1分まで設定できます。自動切替については**自動切替 ページ 10**を参照ください。
- **イベントモニタリング**：イベントモニタリングが設定されると、イベント発生時にイベント連動録画がされるカメラ画面を表示します。イベントモニタリングに関しては**イベントモニタリング機能 ページ 15**を参照ください。
- **解像度**：1920 x 1080、1440 x 900、1280 x 1024から設定することができます。
- **解像度手動モード：**モニターの解像度情報に関わらず、希望する解像度を手動で設定することができます。

  - モニターによって対応できる解像度が制限されることがあります。
  - 1920 x 1080の解像度を使用することをお勧めします。

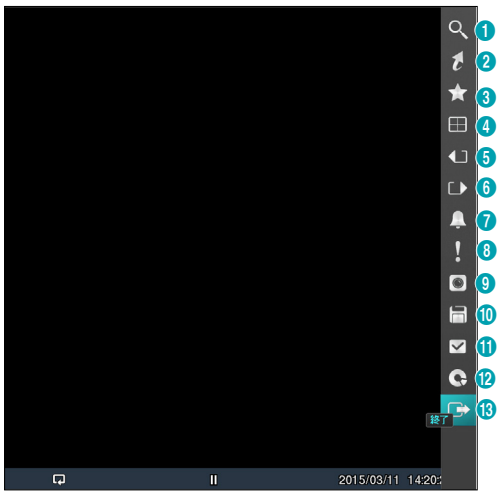
- **モニター解像度:** 現在DVRに繋がっているモニターの解像度情報を見せます。

第3章–検索

映像検索

リアルタイム監視モードで**検索モード**アイコンを選択し、**全チャンネル**モードまたは**トリプレックス**モードを選択して実行することができます。

検索メニュー



① 検索モード

イベントログ検索/ 録画テーブル検索 / モーション検索 / テキストイン検索を変更して検索します。

② 移動

- **最初に戻る:** 録画した映像の最初の画面に移動します。
- **最後に戻る:** 録画した映像の最後の画面に移動します。
- **日付/時間に移動:** 日付と時間で録画映像を検索することができます。

③ ブックマーク

現在の再生時点をブックマークに追加します。

ブックマークは64件まで保存できます。

④ ディスプレー

画面のレイアウトを単一画面、4画面に切り替えます。

- **OSD ON/OFF**：OSD機能を有効化、または無効化します。

⑤, ⑥ 前画面グループ/次画面グループ

現在の画面グループから前画面グループ、または次画面グループに移動します。

⑦ アラーム

アラームが動作している間、内部ブザーを含むDVRのアラーム出力をリセットします。

⑧ 緊急録画

緊急録画機能を使用できます。

⑨ カメラメニュー

カメラチャンネルを選択し、そのチャンネルを単一画面に切り替えます。

- **拡大:** リモコンのZOOMボタンを押した場合と同じく映像を拡大することができます。マウスを右クリックし、方向を変更するにはドラッグし、マウスを左クリックしてホイールを使用して、より正確にズームイン/アウトします。
- **オーディオ:** オーディオ出力をOn/Offさせることができます。
- **テキストイン非表示:** 録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像と一緒に表示するかどうかを選択することができます。
- **グループ編集モード:** 分割画面で画面グループの編集モードを開始します。

カメラメニューは、各カメラ画面でマウスを右クリックして表示させることもできます。

⑩ エクスポート

- **A-Bクリップコピー:** 任意の2つの位置を指定して両位置間のデータをコピーすることができます。
- **クリップコピー：**即座に**クリップコピー**設定ウィンドウが表示され、**開始**と**終了**時刻をデータの最初と最後にするか、任意に修正することができます。

- **印刷:** 現在の映像を印刷することができます。

⑪ 状態

イベント状態および保存空間の状態を確認することができます。状態に関しては**状態監視 ページ 15**部分を参照してください。

状態メニューの選択は、システム検査権限を持つユーザーアカウントでログインした場合のみ可能です。

⑫ データベース

- **部分削除**：個人情報を保護するため、録画されたデータの中から一部区間の映像を削除することができます。

最大部分削除期間は1時間です。但し、現在録画中の時間とあまり差がない時間の映像は削除できない場合があります。部分削除が行われている間、遠隔検索プログラムでの接続はサポートされません。

- **録画**：本装置の保存デバイスに録画されたデータを検索することができます。
- **外部**：他装置で使用していたディスクを接続すると、録画されているデータを検索することができます。

⑬ 終了

リアルタイム監視モードに切り替わります。

コンテキストメニュー

カメラ画面でマウスを右クリックすると、コンテキストメニューを実行することができます。

- **拡大:** 映像を拡大することができます。
- **グループ編集:** グループ編集では、分割画面上でカメラの位置が変更できます。
- **終了:** リアルタイム監視モードに切り替わります。

イベントログ検索

メニューで**検索モード**>**イベントログ検索**を選択すると、イベントログ検索ウィンドウが表示されます。

- 特定のイベントを選択すると、連動録画が行われるチャンネルの選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態で表示されます。画面内の再生ボタンで映像を再生することができ、画面構成を変更して他のカメラを再生することができます。
- イベントログ検索ウィンドウから左側下段の**条件…**を選択すると、**イベントログ検索条件**設定ウィンドウが表示されます。

- イベントログ検索条件の**最初**か**最後**の選択を解除して検索する期間を直接変更することができます。

開始で始めを選択すると保存されたデータの中で、最初の時刻に設定され、終了で終わりを選択すると保存されたデータの中で最後の時刻に設定されます。

- **開始**または**終了**時間をユーザーが指定する場合には、**時間重複検査**を選択/解除することができます。

システム時間が変更されユーザーが指定した**開始**時間または**終了**時間が2つ以上ある場合、これらから1つを選ばなければなりません。選択した**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントだけが検索されます。**時間重複検査**が選択されていなければ、全ての**開始**と**終了**時間帯に発生したイベントを検索します。

カメラフィルター

- **アラーム入力**：アラーム入力イベントを検索するアラーム入力チャンネルを選択します。
- **モーション**：モーション感知を検索するカメラチャンネルを選択します。
- **トリップゾーン：**トリップゾーン感知を検索するカメラチャンネルを選択します。
- **映像信号なし**：映像信号なしイベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
- **映像信号遮断:** 映像信号遮断イベントを検索するカメラチャンネルを選択します。
- **テキストイン**：テキストインイベントを検索するチャンネルを選択します。
- **録画チャンネル**：イベントを検索する録画チャンネルを選択します。

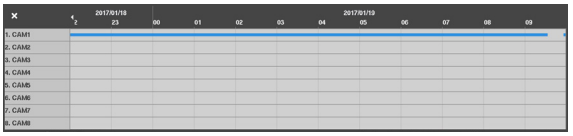
設定された録画チャンネルのうちで少なくとも1つの連動録画が発生したイベントだけを検索します。どのカメラも選択しなければ、連動録画カメラが1つもないイベントだけを検索します。

- **緊急録画**、**録画エラー**、**アラーム入力エラー**、**ディスクフル警告**、**ディスクエラー**、**ディスク温度**、**ディスクS.M.A.R.T.**、**ファンエラー**、**ディスク構成変更**などのシステムイベントを検索するときイベントフィルターを選択して選定することができます。

録画テーブル検索

検索 > 録画テーブル検索メニューを選択すると、録画テーブル検索設定ウィンドウが表示されます。

① 現在の画面に表示されるチャンネルの録画情報を表します。



検索ウィンドウ上段に録画された日付/時間情報が表示されます。録画テーブルの縦の線は現在の再生位置を表します。リモコンの方向ボタンを利用し、現在の再生位置を区間単位で移動することができます。マウスで再生位置を自由に移動させることができます。

- 録画テーブルで後方に表示されるほど、最新のデータです。
- システム時間を過去の時間に変更して録画すると、同じ時間帯に1つ以上の映像が存在することがあります。重なる時間帯は黄色い線で区分された録画テーブルに表示されます。

検索ウィンドウ左側下段の▲または▼を選択すると検索ウィンドウの大きさが選択され、録画情報がチャンネル別に表示されるチャンネル別ビュー、併合ビュー、そして、再生ツールバーだけが表示される単純ビューに変更することができます。

録画データの棒グラフの色

青色	タイムラプス録画
紫色	イベント録画
黄色	プリイベント録画
赤色	緊急録画

② 拡大

⊕(拡大表示)を選択すると録画情報が1分単位の区間で構成され、⊖(縮小表示)を選択すると録画情報が3分単位の区間で構成されます。縮小表示を選択すると、拡大表示よりもっと多くの時間を一つの画面で見ることができます。

画面に表示される日付や時間より以前または以後の録画データが存在する場合、日付/時間情報を表示するウィンドウの両側にスクロールバーが表示されます。スクロールをリモコンの方向ボタンを押すか、マウスでクリックしてドラッグし、選択した録画データの情報を確認することができます。

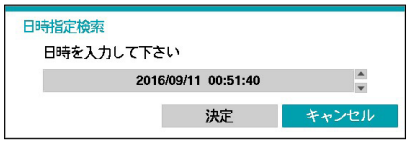
③ カレンダー検索

特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。

録画された映像がある日付は黒色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態で表示されます。選択された日付は水色で表示されます。

④ その他のメニュー

- **移動**: 日付と時間で録画映像を検索することができます。移動する日付/時間を設定して移動を押すと、検索にヒットした録画映像に移動します。



- **クリップコピー:** クリップコピー設定ウィンドウが表示され、開始と終了時刻をデータの最初と最後にするか、任意に修正することができます。
- **印刷:** 現在の映像を印刷することができます。
- **部分削除:** 個人情報を保護するため、録画されたデータの中から一部区間の映像を削除することができます。
- **拡大:** 再生画面を拡大して検索することができます。
- **低速再生:** 再生速度を遅くして検索することができます。(x1/2、x1/3、x1/4、x1/6、x1/8)の低速再生の速度を設定し、再生ボタンを押すと設定した倍速で映像が再生されます。

⑤ ブックマーク

現在の再生時点をブックマークに追加します。

ブックマークは64件まで保存できます。

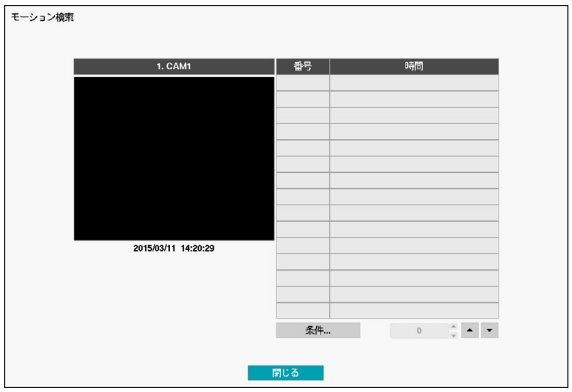
⑥ 再生ボタン

映像を再生・探索することができます。各ボタンの機能はリモコンの再生ボタンと同じです。

◀◀	映像を高速(X16, X32, X64, X128, X256)で逆再生します。 (ボタンを押すたびに◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀に速度変更)
▶/Ⅱ	映像が通常の速度で再生され、画面に▶が表示されます。再生中に▶/Ⅱボタンを押すと、映像が一時停止され、画面にⅡが表示されます。
▶▶	映像を高速(X16, X32, X64, X128, X256)で再生します。 (ボタンを押すたびに ▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶に速度変更)
■	映像再生が停止し、リアルタイム監視モードに切り替わります。
◀I	前の画面に移動（一時停止の状態時）
I▶	次の画面に移動（一時停止の状態時）

モーション検索

検索メニューで**モーション検索**メニューを選択すると、モーション検索設定ウィンドウが表示されます。



モーション検索機能は分割画面モードでは実行できません。単一画面モードで選択してください。

条件…を選択すると、モーション検索で検索する条件を決めることができます。

- **開始**で**始め**を選択すると、保存されているデータの中で最初の時刻に設定され、**終了**で**終わり**を選択すると保存されているデータの中で最後の時刻に設定されます。**始め**や**終わり**のチェックを解除し、検索する期間を直接指定することができます。
- **タイプ**：**モーション検索**は直前の映像と比較して選択されたエリアでの変化を探します。つまり、継続的な変化にも関わらず、変化がとても遅い場合は検索されません。一方で、**オブジェクト検索**は**開始**に設定されたときの映像と比較し、選択されたエリアでの変化を見つけます。よって、とても遅い変化であっても**開始**で設定されたときと比較し、ある程度の変化は感知されます。
- **エリア**設定はシステム構成-モーション感知設定でエリアを設定する方法と同じです。詳しい内容は**モーション ページ 33**を参照ください。

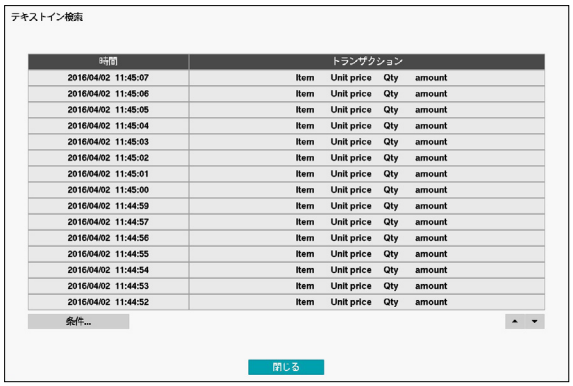
  オブジェクト検索の検索**エリア**を設定する場合、物体の端の部分を検索領域に含むと正しく検索されない場合があります。正確な検索のために、物体の輪郭の内側を感知エリアに設定してください。

- **感度**：1(低感度)~5（高感度)の中から設定することができます。
- **ミニマムブロック**：**ミニマムブロック**設定はモーション検索だけで使用することができます。

条件設定が終わったら、**検索**を押してください。検索結果項目を選択すると、左側に映像が表示されます。映像を再生するためには、**閉じる**ボタンを押して設定ウィンドウを閉じてください。

テキストイン検索

検索メニューで**テキストイン検索**を選択すると、テキストイン検索ウィンドウが表示されます。



特定**トランザクション**を選択すると、選択された日付と時間に該当する映像が静止画の状態で表示されます。

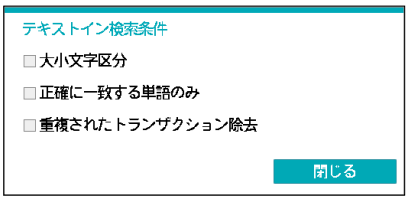
1倍速の再生時には画面にテキストイン情報が重なって表示されますが、他の速度で再生すると表示されません。

左下の**条件…**を選択すると、テキストイン検索で検索する条件を決めることができます。

- **開始**で**始め**を選択すると、保存されているデータの中で最初の時刻に設定され、**終了**で**終わり**を選択すると保存されているデータの中で最後の時刻に設定されます。**始め**や**終わり**のチェックを解除すると検索する期間を直接変更することができます。

を選択すると、選択したブックマークの時点を開始または終了時間で設定することができます。

- **チャンネル**：検索するテキストインチャンネルを選択することができます。
- **テキストインデバイス**を選択し、テキストインデバイスのタイプを選択することができます。
- **＋ボタン**：検索変数設定を追加することができます。
- **条件...:** 大文字・小文字を区分するか、正確に一致する単語だけを検索するかどうか、重複するトランザクションを削除するかどうか等の検索条件を設定することができます。

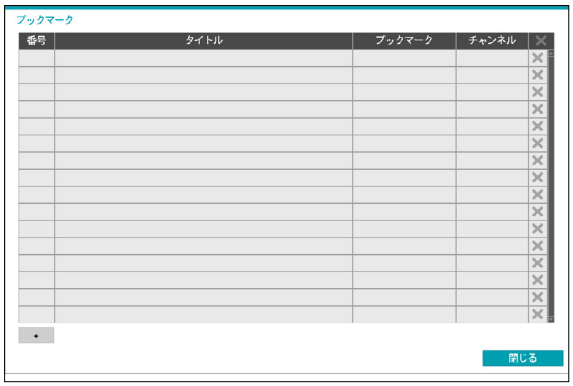


- **読込**：保存しておいた検索条件の設定値を読み込むことができます。
- **保存**：現在の検索条件の設定値を保存することができます。

設定が終わり**検索**を押し、検索を実行したあと、**テキストイン検索**設定ウィンドウに戻ります。

ブックマーク

検索メニューから**ブックマーク**を選択すると、ブックマーク設定ウィンドウが表示されます。



+を選択すると、現在の再生位置をブックマークに追加します。ブックマーク設定ウィンドウから特定のブックマークを選択すると、登録された再生時点に移動することができます。

ブックマークは64件まで保存できます。

題名を選択して当該ブックマークの題名を変更することが可能で、設定されたブックマーク項目の右側の✕を選択して当該ブックマークを削除することができます。

バックアップ

バックアップ

検索メニューで**エクスポート–バックアップ**を選択するか、リアルタイム監視モードまたは再生モードでリモコンの**BACK UP**ボタンを押すと、**バックアップ**設定ウィンドウが表示されます。**開始**と**終了**時刻をデータの最初や最後に決めたり、自由に設定したりすることができます。

ツータッチクリップコピー

任意の2つの位置を指定し、両位置間のデータをコピーすることができます。検索メニューで**保存–ツータッチクリップコピー**を選択すると、最初の位置が設定され、システムの右上のステータス情報ウィンドウに アイコンが表示されます。もう一度**保存–ツータッチクリップコピー**を選択すると、2番目の位置が設定されバックアップ設定ウィンドウが表示されます。指定した2つの位置の範囲が**開始**と**終了**時刻に自動設定されます。

- **チャンネル**：カメラの映像を保存するチャンネルを選択することができます。
- **パスワード**：保存したビデオクリップを再生するとき、パスワードを使用するか否かを選択し使用する場合はパスワードを設定してください。
- **メディア選択**：保存されるメディアを選択することができます。NetFS機能が使用中の場合、登録されているFTPサイトにビデオクリップをアップロードします。

- NetFSサイトにバックアップする場合、NetFSサイトのディスク容量を確認することができません。
- DVRは実際のディスク容量と関係なく30GBと表示し、バックアップのためのファイルサイズは30GB以下に制限されます。
- ビデオクリップがコピーされた後にアップロードが失敗する場合、コピーされたビデオクリップは削除されます。
- 同じファイルが存在する場合、ビデオクリップはコピーされません。

- **ファイル名**：保存するファイルの名前を設定してください。最大63文字まで入力できます。

ファイル名には、¥、/、:、;、*、?、!、“、<、>、|などの文字は使用できません。

- **テキストインデータを含む**：録画映像にテキスト入力情報がある場合、テキスト入力情報を映像とともに保存します。
- **サイト名使用**：バックアップのファイル名にサイト情報を追加します。

バックアップのファイル名に場所情報を追加する場合、場所情報に使用された¥、/、:、;、*、?、!、“、<、>、|などの特殊文字は_に代替されます。

開始を押すと指定した保存範囲のデータ量が計算されて表示されます。容量を確認し、**続ける**を選択するとバックアップが始まります。バックアップが始まると、**キャンセル**を押してバックアップを取り消すことができ、**閉じる**を押して画面を消すことができます。**閉じる**を選択してもバックアップは続けられ、コピーが完了するとこれを確認するウィンドウが表示されます。

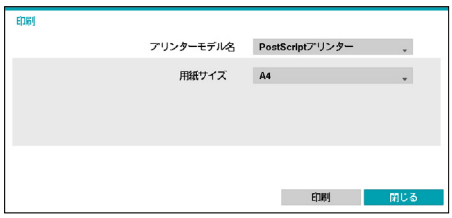
- リアルタイム監視モードまたは再生モードから**BACK UP**ボタンを3秒以上押すと、ワンタッチモードでクリップコピー設定ウィンドウを表示することができます。
- **ワンタッチバックアップモード**では保存されるドライブのメディア容量に合わせて保存範囲を自動的に設定します。選択したメディアに空き容量が足りない場合、空いている容量だけバックアップができます。
- 2GBを超える映像区間をバックアップする場合、システムが2GB単位に分けて保存します。
- バックアップで作成したファイルは、WindowsのPCで、すぐに再生することができます。再生方法に対する詳しい説明はIDIS Center（オプション）の取扱説明書を参照ください。
- USBフラッシュメモリはFAT32フォーマットのみに対応します。

USBバックアップの途中でUSBケーブルを取り外したり、USB装置の電源を切ったりしないでください。USBバックアップ中にケーブルが抜けたり装置の電源が切れた場合、DVRシステムが誤作動を起こしたり、外付けUSB装置のファイルシステムが損傷し再びバックアップを試みたときバックアップができないというエラーメッセージが表示されることがあります。このエラーメッセージを表示させないためには、DVRを再起動する必要があります。USB HDDのファイルシステムが損傷していた場合は、DVRを再起動してバックアップを試みてもこのエラーメッセージは消えずに表示されます。この場合はHDDをもう一度フォーマットするか、復元プログラムを利用して損傷した外付けHDDのファイルシステムを修正しなければなりません。

印刷

現在の映像を印刷することができます。

検索モードで**一時停止**ボタンを押して、再生を一時停止してください。**エクスポート**で**印刷**を選択すると、印刷設定ウィンドウが表示されます。

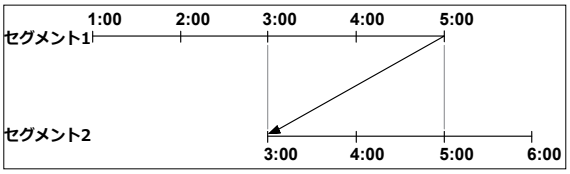


- **プリンターモデル名**
  - **ファイルプリンター：**現在の映像がUSB保存デバイス、またはNetFSサイトに PDFファイルで保存され、保存された映像はPCに接続されたプリンターで印刷することができます。
  - **PostScriptプリンター:** 現在の映像がUSBコネクタに接続しているプリンターで印刷されます。
- **用紙サイズ**：プリントする用紙の大きさを選択します。
  - **ファイル名**：ファイルプリンターの場合、保存するファイルの名前を指定します。

重複した時間の映像検索

ユーザーがシステム時間を過去に戻して録画した場合、同じ時間帯に1つ以上の録画映像が存在する時間重複現象が発生する可能性があります。この場合、重複した時間の録画映像は、セグメントを区分して検索する必要があります。

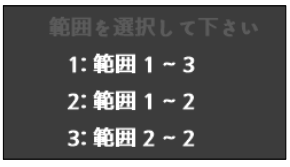
例えば1時から5時までの録画映像が存在する場合、システムユーザーがシステム時間を5時から3時に変更したあと6時まで録画すると、3時から5時までの録画映像が2つ存在することになります。このとき、3時から5時までの時間には2つのセグメントが発生します。



重複した時間の録画映像を検索するとき、特定の時刻または時間範囲を選択することができます。もし時間が重複した区間である3時から5時までの区間で**日時指定検索**などの検索メニューを利用し、ある特定の検索時間を指定する場合、例えば**4時**の録画映像を検索したいなら重複した2つのセグメントの中からどのセグメントの**4時**であるかを選択しなければなりません。

もし時間が重複した3時～5時の区間で**イベントログ検索**および**モーション検索**などの検索メニューを利用して検索時間範囲を指定する場合、例えば**4時～5時**の間の録画映像を検索したいなら重複する2つの検索開始と終了の時間の中から1つを選択しなければなりません。選択可能な検索範囲は下記のとおりです。

- セグメント1の4時～セグメント1の5時
- セグメント1の4時～セグメント2の5時
- セグメント2の4時～セグメント2の5時



第4章 – IDIS Web

IDIS Webはインターネット上でプログラムの設定なしに遠隔地の映像を監視・検索することのできるプログラムです。通常のウェブブラウザー(エクスプローラー)でいつでもどこでも接続することができます。
IDIS Webプログラムを実行するために必要なPCのシステム要求事項は下記のとおりです。

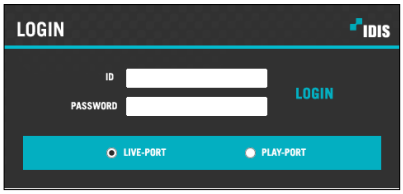
- OS: Microsoft® Windows® XP (Service Pack 3)、 Microsoft® Windows® Vista (Service Pack 1)、 Microsoft® Windows® 7 (Home Premium、 Professional、 Ultimate) or Microsoft® Windows® 8 (Pro、 Enterprise)
- CPU : Intel Pentium IV 2.4GHz以上(Core 2 Duo E4600推奨)
- RAM : 1GB以上
- VGA : 128MB以上(1280x1024、24bpp以上)
- Internet Explorer : Ver.7.0以上(32-Bit)

- IDIS Webはマイクロソフトのインターネットエクスプローラー(Microsoft Internet Explorer)だけに対応し、その他のウェブブラウザーには対応しません。
- IDIS WebはMicrosoft® Windows® 8のメトロ(Metro) UIでは作動しません。

1 IE(インターネットエクスプローラー)を起動し、アドレスバーに下記の情報を入力してください。
- http://IPアドレス : ポート番号(DVRシステムIPアドレスおよびネットワーク–一般設定で設定したIDIS Web接続ポート番号
  (初期値 : 12088)入力)
- または、http://fen.idisglobal.com/FENの名前(FENの名前 : FENサーバーに設定したDVRのFEN名)
- または、http:/web.idisglobal.com (ログイン時のDVR IPアドレス、またはFENサーバーに登録されているFEN名)

接続したいDVRのIPアドレスおよびIDIS Webポート番号はネットワーク管理者にお問い合わせください。

2 IDIS Webログインウィンドウが表示されたら、**LIVE-PORT**または**PLAY-PORT**を選択します。ログインに必要なIDおよびパスワードを入力し、**LOGIN**ボタンをクリックすると選択したモードに移行します。



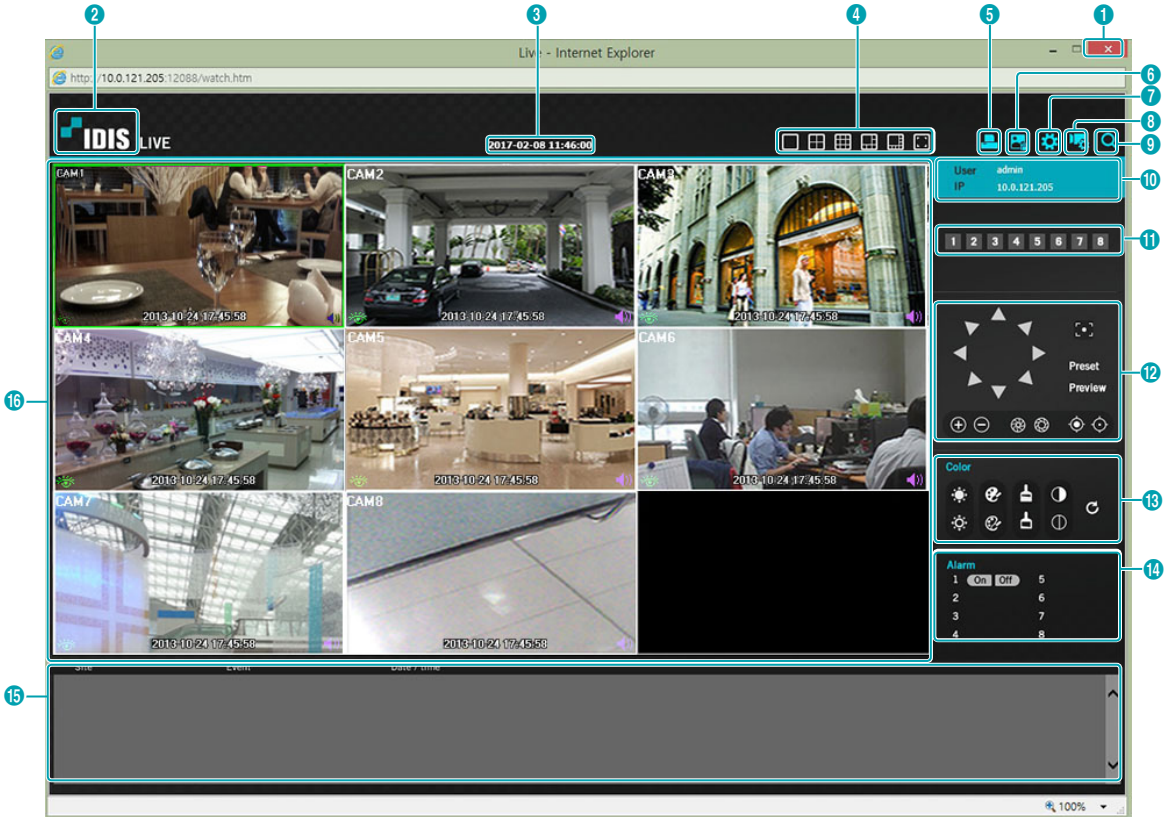
http://web.idisglobal.comを入力してアクセスする場合、DEVICE ADDRESSの項目にDVRのIPアドレスを入力します。ログインウィンドウでUse FENサービスオプションを選択すると、IPアドレスの代わりにFENサーバーに登録されているDVRの名前を入力することができます。なお、SETUP設定でFENサーバーのアドレスおよびポート番号の入力が要求されます。

- IDIS Webプログラムの運用中にはログインウィンドウを閉じないでください。ウェブ監視モードまたはウェブ検索モードに切り替わるときスクリプトエラーが発生します。この場合はIDIS Webプログラムを再起動する必要があります。
- IDIS Webを実行するとき、アドレスバーまたはステータスバーが表示される場合、画面の下段部が切れて表示されることがあります。この場合インターネット設定を変更し、アドレスバーまたはステータスバーを非表示にして実行することをお勧めします。(**ツール**→**インターネットオプション**→**セキュリティ**→**レベルのカスタマイズ**→**ウェブサイトがアドレスバーやステータスバーのないウィンドウを開くのを許可する**オプションを**使用**に設定)
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSでIDIS Webプログラムを起動する場合、IEを起動するときにIEアイコンをマウスの右クリックすると表示されるメニューから**管理者の権限で実行**オプションを選択してください。そうしなければ、IDIS Webプログラムの一部機能が制限されることがあります。

- 新規バージョンのIDIS Webを最初に実行する場合、以前バージョンの情報を読み込むことがあります。この場合、**ツール**→**インターネットオプション**→**一般**タブに移動し、テンポラリインターネットファイルを削除してからもう一度IDIS Webを起動してください。
- Microsoft Windows Vista、またはその上位バージョンのOSで映像伝送速度低下によって画面が映らなかったり、更新されなかったりすることがあります。この場合、ご使用中のPCのオートチューニング機能の解除をお勧めします。管理者の権限でコマンドプロンプトを実行します。(**スタート**→**アクセサリー**→**コマンドプロンプト**→**マウスの右ボタン**をクリックし、**管理者の権限で実行**選択)**netsh int tcp set global autotuninglevel=disable**を入力したあとエンターキーを押します。PCを再起動し変更された設定を適用します。オートチューニング機能を復元するには、管理者の権限でコマンドプロンプトを実行したあと**netsh int tcp set global autotuninglevel=normal**を入力します。PCを再起動し変更された設定を適用します。

ウェブ監視モード

遠隔地の映像をリアルタイムで監視できる遠隔地ウェブ監視プログラムです。



❶	を押してIDIS Webプログラムを終了します。
❷	マウスポインタをIDISログの部分に当てると、IDIS Webのバージョンを確認することができます。
❸	現在の時間情報を表示します。
❹	画面モードを選択します。画面モードを変更する場合、現在のスクリーンで選択したカメラが変更されるレイアウトの1番目のセルに位置します。
❺	を押して現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。
❻	を押して現在みている映像を画像ファイルで保存します。
❼	を押してドローイングモードおよびOSD表示を設定することができます。ドローイングモードを選択して映像を出力する速度を調節することができ、OSD表示リストから画面に表示されるOSD情報を選択することがあります。
❽	を押して設定メニューに切り替えます。
❾	を押してウェブ検索モードに切り替えます。
❿	ログイン情報を表示します。

⓫	監視したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。
⓬	遠隔地のPTZカメラを制御します。
⓭	監視映像の画質を調節します。
⓮	遠隔地のアラーム出力装備を制御します。
⓯	下段部のイベントステータスウィンドウは、遠隔地で感知されたイベントリストを表示します。
⓰	スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。 • **カメラタイトル変更**：カメラ名を変更することができます。 ウェブ監視モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上に表示されます。 • **オーディオ有効化**：遠隔地とのオーディオ送受信機能を提供します。項目を選択すると、オーディオ ボタンが表示されます。 マイクで遠隔地へオーディオを伝送することができます。 スピーカーで遠隔地のオーディオを再生することができます。 / 遠隔地との双方向オーディオ送受信が可能です。 × オーディオ送受信が無効化されます。 接続した遠隔地がオーディオ送受信に対応する場合、カメラスクリーンに アイコンが表示されます。 • **画面アスペクト比**：画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。 - 画面に合わせる：カメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。 - アスペクト比に合わせる：オリジナル映像の縦横比でカメラスクリーンのエリアに合わせて映像を出力します。 - 半分の大きさ(x0.5)～4倍の大きさ(x4)：オリジナル映像の大きさを基準にメニューで指定した大きさでカメラスクリーンに映像を出力します。例えば実際の大きさ(x1)を選択すると、オリジナル映像の実際の大きさで出力します。半分の大きさ(x0.5)～4倍の大きさ(x4)メニューはカメラスクリーンに選択した大きさで映像を出力できるだけのエリアが確保された場合のみに活性化します。 • **マルチストリーム：** ひとつ以上のストリームに対応します。 • **ブロック現象除去**：拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。

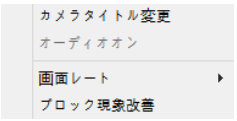
ウェブ検索モード

遠隔地の録画映像を検索できる遠隔地ウェブ検索プログラムです。

ウェブ検索スクリーンでの遠隔地へのアクセスは30分以上操作がなければ自動的に解除されます。

❶	を押してIDIS Webプログラムを終了します。
❷	マウスポインタを IDIS ログの部分に当てると、IDIS Webのバージョンを確認することができます。
❸	遠隔地DVRの録画映像の時間情報を表示します。
❹	画面モードを選択します。
❺	を押して現在見ている映像をPCに接続されているプリンターで印刷します。
❻	を押して録画映像を実行ファイルとして保存します。
❼	を押して現在みている映像を画像ファイルで保存します。
❽	を押してドローイングモードおよびOSD表示を設定することができます。ドローイングモードを選択して映像を出力する速度を調節することができ、OSD表示リストから画面に表示されるOSD情報を選択することができます。
❾	を押して、ウェブ監視モードに切り替えます。

<table>
<tr><td>⑩</td><td>ログイン情報を表示します。</td></tr>
<tr><td>⑪</td><td>検索したいカメラを選択します。矢印ボタンを利用して以前のカメラグループまたは次のカメラグループに移動します。</td></tr>
<tr><td>⑫</td><td>映像を縮小・拡大します。</td></tr>
<tr><td>⑬</td><td>映像の明るさを調節します。</td></tr>
<tr><td>⑭</td><td>映像に様々なイメージフィルターを適用します。
映像調整は一時停止の状態のみで適用されます。</td></tr>
<tr><td>⑮</td><td>特定の日付の映像をカレンダー検索で探すことができます。
録画された映像がある日付は水色で表示されます。日付を選択すると、その日付のもっとも早い時間に録画された映像が静止画の状態で表示されます。選択された日付はオレンジ色で表示されます。</td></tr>
<tr><td>⑯</td><td>TimeLapse を選択するとタイムラプス検索モードを利用し、録画映像を時間順に従って検索・再生します。タイムラプス検索モードでの検索は日付の単位で行われ、カレンダーで検索する日付を選択することができます。画面下のタイムテーブルではカレンダーで選択した日付の録画映像の時間情報を表示します。時間を選択すると、その時間帯の映像を画面に表示します。選択した時間帯に1つ以上の映像がある場合、セグメントを選択することができます。</td></tr>
<tr><td>⑰</td><td>Event を選択するとイベント検索モードになり、ユーザーが指定する特定な条件に満足するイベントを検索することができます。</td></tr>
<tr><td>⑱</td><td>再生ボタンを押して指定した状態で映像を再生することができます。
<table>
<tr><td></td><td>映像の先頭に移動</td><td></td><td>1コマずつ再生</td></tr>
<tr><td></td><td>映像を高速逆再生</td><td></td><td>高速再生</td></tr>
<tr><td></td><td>1コマずつ逆再生</td><td></td><td>映像の最後に移動</td></tr>
<tr><td></td><td>通常再生・一時停止</td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>⑲</td><td>Goto を押して検索する、特定の時間帯の映像にすぐ移動することができます。</td></tr>
<tr><td>⑳</td><td>Reload を押して遠隔地の最新録画映像を再び読み込みます。</td></tr>
<tr><td>㉑</td><td>選択したカメラの録画情報を時間単位で表示します。カメラのシステム時間が過去に変更され同一の時間帯に1つ以上の映像が存在する場合、タイムテーブルの右上のセグメントメニューでどのビデオセグメントを検索するか指定することができます。</td></tr>
</table>

㉒	スクリーンからカメラを選択しマウスの右ボタンをクリックするとポップアップメニューが表示されます。  • **カメラタイトル変更**：カメラ名を変更することができます。 ウェブ検索モードで変更されたカメラ名は遠隔地システムには影響を与えず、カメラ名を入力しなければ遠隔地で設定したカメラ名が画面上の表示されます。 • **オーディオ有効化**：映像が録画されるときオーディオも一緒に録音されている場合、再生するときオーディオが一緒に出力されます（単一画面再生時に限る)。 • **画面アスペクト比**：画面上に表示される映像のアスペクト比を変更することができます。 • **ブロック現象除去**：拡大映像で発生する階段化(ブロック)現象を除去し、画面上に表示される映像の出力品質を高めることができます。

索引

Index

A–Z

HDD 16
IPアドレススキャン 44
OSD 53
PTZ 13

い

イベントモニタリング 15

う

ウェブガード 64

お

オーディオ録音 17

す

スケジュール 31

て

テキストイン 38
テキストイン検索 60
61

ふ

プリイベント 33

ま

マウス 20

も

モーション検索 59

り

リアルタイム監視 10

IDIS Co., Ltd.